

幌加内町平成29年予算審査特別委員会 第1日目

平成29年3月15日(水曜日)

○出席委員(8名)

委員長	8番	齋藤雅文君	副委員長	5番	小関和明君
副委員長	6番	春名久士君		1番	稲見隆浩君
	3番	中川秀雄君		4番	市村裕一君
	7番	田丸利博君		9番	小川雅昭君

○出席委員(1名)

2番 中村雅義君

○出席説明員

町長	細川雅弘君
副町長	村上悟君
教育長	児玉博君
総務課長	大野克彦君
産業課長	村上雅之君
建設課長	小野田倫久君
住民課長	竹谷浩昌君
保健福祉課長	中河滋登君
診療所事務長	蔵前裕幸君
保健福祉課長補佐	木下八代恵君
住民課主幹	岩本美佐江君
地域振興室長	山本久稔君
農業委員会事務局長	柏原潤君
総務課長	山本めぐみ君
総務課長	安藝修君
総務課職員厚生係長	三浦依理子君
総務課情報管理係長	椿英万君

総務課 財政係長	菊地	宏	君
総務課 管財係長	加藤	洋恵	君
住民課主幹	加藤	誠一	君
産業課主幹	新江	和夫	君
産業課 農政係長	伊藤	宗徳	君
産業課 農業振興係長	高木	敏光	君
産業課 商工観光係長	渡邊	義夫	君
建設課主幹	高田	英樹	君
保健福祉課 しあわせ福祉係長	松岡	剛	君
保健福祉課 介護保険係長	相澤	雅彦	君
保健福祉課 あんしん介護係長	北村	康栄	君
地域振興室 主幹	野口	卓也	君
教育次長	清原	吉典	君
学務課長	内山	涉	君
社会教育係長	野村	道宏	君
幌加内高等学校 学校事務長	高田	美穂	君

○出席事務局職員

事務局長	宮田	直樹	君
書記	岡田	由美	君

◎開会・開議の宣告

○委員長（齋藤雅文君） ただいまの出席委員数は8名であります。定足数に達しておりますので、直ちに予算審査特別委員会を開きます。

これより平成29年度幌加内町各会計予算の審議を行います。審議に先立ちまして一言ご挨拶を申し上げます。委員各位並びに説明員の皆様におかれましては、朝早くからご出席をいただき、厚くお礼申し上げます。さきの本会議において予算審査特別委員会が設置され、私が委員長として重責を担うこととなりました。町議会の新たな取り組みとして開かれた議会を目指すため、本年度から広く町民の皆様へ傍聴いただけるよう、予算審査特別委員会を議場で開催することといたしました。議会は議会の立場で広く客観的に、町民の負託に応えられる政策の内容、費用対効果等、十分に論議を重ねてまいりたいと思います。能率的かつ効果的な委員会運営がなされますよう、委員各位のご理解と皆様のご協力を何とぞお願いいたしまして、ご挨拶といたします。

◎議案第24号ないし議案第30号

○委員長（齋藤雅文君） それでは、これから付託を受けました議案第24号から議案第30号までの平成29年度各会計予算の件を議題といたします。

審議に入る前に、特別委員会の運営方法について事務局より説明させます。

○事務局長（宮田直樹君） （予算審査特別委員会運営方法朗読、記載省略）

○委員長（齋藤雅文君） 以上で説明を終わります。

お諮りいたします。以上の審査方法により直ちに審査を行いたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 異議なしと認め、そのように取り進めることといたします。

それでは、これより審査に入ります。

説明員の皆さんに申し上げます。今ほども説明がありましたように、新規の部分、昨年と変わる部分を中心に説明を行っていただき、説明は簡潔明瞭をお願いいたします。

暫時休憩いたします。

休憩 午前 9時06分

再開 午前 9時07分

○委員長（齋藤雅文君） それでは、休憩を解いて早速会議に入ります。

これから議案第24号 平成29年度幌加内町一般会計予算の説明及び質疑を行います。歳出の1款議会費、2款総務費を一括して審査を行います。

説明をお願いします。

総務課長。

○総務課長（大野克彦君） それでは、議会費、総務費についてご説明いたします。

予算書73ページ、74ページをお願いいたします。1款1項1目議会費、本年度3,756万4,000円、比較31万3,000円の減額でございます。主な内容でございますが、3節職員手当、議員期末手当、これにつきまして昨年計上が4.1カ月分でしたけれども、今年度ベースアップがあり4.3カ月分となりまして、33万5,000円の増額となっております。次に、共済費から14節使用料及び賃借料まで、特にございません。18節備品購入費につきましては、昨年書庫3台の購入19万7,000円がありました。今回はなかったため、この分が減額となっております。議会費につきましては以上でございます。次のページをお願いいたします。2款1項1目一般管理費、本年度6,313万、比較7,000円の増額となっております。まず、1節報酬につきまして、特別職報酬等審議会委員報酬1万7,000円が増額となっております。これにつきましては、先日、条例提案いたしました審議会の発足に伴うもので、予算を新規に付けてございます。続きまして、7節賃金、臨時雇い賃金で前年比402万3,000円の減額となっております。これにつきましては、事務職員1人分163万6,000円の減額と町長車運転手1名分217万8,000円の減額となっております。なお、運転手につきましては、会社に委託するというので委託料へ振り替えてございます。続きまして、8節報償費につきましては、臨時職員年末報償金32万円は対象者がいなくなったため減額となっております。続きまして、11節需用費中の一番下段、特別修繕料でございますけれども、211万6,000円計上してありますが、今年度につきましては庁舎1階の蛍光灯をLED化するため、修繕料といたしまして計上してございます。大体蛍光灯につきましては200本程度ということで予定してございます。このページは以上であります。次のページをお開き願います。13節委託料の一番下段から2つ目でございますけれども、公会計対応支援業務委託料199万8,000円でございます。これにつきましては、28年度から公会計へ移動ということで、それぞれ普通会計について作成をしておりましたけれども、29年度につきましては普通会計以外の特別会計、第三セクター等も含めて実施するというので199万8,000円の増額となっております。続きまして、町長車運転業務委託料145万2,000円でございますけれども、これにつきましては臨時雇いでしていたものを業者委託する予定ということで、委託料として計上してございます。続きまして、18節備品購入費、庁舎備品購入費でございますが、通常分として27万円ありますけれども、そのほかにことしにつきましては芝刈り機更新ということで10万3,000円を計上してございます。この目については以上でございます。

次のページをお願いいたします。79ページ、80ページをお願いいたします。3目文書広報費、本年度802万2,000円、比較559万1,000円の増額でございます。11節需用費の中で広報印刷費で247万4,000円の増額となっております。これにつきましては、施政方針の中でありましたけれども、開基120周年を記念いたしまし

て広報紙の縮刷版を作成、各戸配布するものでございます。縮刷版につきましては、21年3月まではつくっておりますけれども、今回はそれ以降について作成を予定しているところでございます。続きまして、町勢要覧印刷費につきましては第7次総合振興計画の部分を反映すること、国勢調査の結果が固まりましたので、その数値を計上するために新たに印刷するものでございます。300部を予定しているところでございます。続きまして、13節委託料、ホームページ作成管理業務委託料237万6,000円の増額となっております。これにつきましては、ホームページを町で作成しておりますけれども、今回新たにリニューアルをするものでございます。なかなか更新等が今までは行えなかったというような部分もありまして、会社を替える等も検討し新たなホームページをつくるものでございます。続きまして、18節備品購入費につきましては、広報取材用カメラ1台の購入予定となっております。この目については以上でございます。

次のページをお願いいたします。81ページ、82ページとなります。4目財政管理事務運営費1,432万円、これにつきましては皆増となっております。施政方針の中で触れましたけれども、ふるさと納税にかかわる経費のみを計上し、新たに新設した目でございます。8節報償費につきましては、物産品宣伝費ということで50万計上してございます。中身についてはこれから検討部分がございますが、広告料を中心と考えているところでございます。それから、ふるさと納税謝品ということで1,000万円を計上してございます。なお、遅れましたけれども、支出につきましてはふるさと納税額2,000万円を予定し支出については計上してございます。11節需用費、食糧費につきましては返礼品を扱う町内業者との打ち合わせ会議等でお茶代等を賄うために付けてございます。印刷費につきましては、ふるさと納税に対するお礼の文書等を送るための専用の封筒、シール、パンフレットを作成予定となっております。役務費、郵便料につきましてもお礼等の送付料となっております。13節委託料、ふるさと納税代行業務委託料につきましては、ふるさと納税額の大体13%ということで定率になっており、これにつきましてはインターネット運営会社へ支払うこととなっております。14節、ふるさと納税公金支払いシステム利用料、これにつきましてもクレジットで行っております部分がありますので、この部分を取り扱うサービス会社へ利用料として支払う部分となっております。この目については以上でございます。

5目財産管理費3,268万3,000円、比較7,517万1,000円の減額となっております。この目につきましては、各課で管理をしております公用車、建物等の維持管理に関する経費を計上してございます。減額の大きな要因といたしましては、平成28年度につきましては病院の解体工事費7,400万円があったため、大きな減額となっております。この中で13節委託料の一番下段でございますけれども、公共施設煙突ライニング材成分調査業務委託費で61万3,000円を計上してございますけれども、これにつきましてはルオント、アルク、高校温室、まどか実習棟の4カ所のアスベスト使用の有無について調査するものでございます。続きまして、15節工事請負費、旧幌加内高

等学校農機具実習室解体工事342万4,000円でございますけれども、これにつきましては体育館横にある建物であります、老朽化によることと使用目的もないということで解体するものでございます。次の備品購入費につきましては、総務課の車1台306万2,000円と産業課の車209万3,000円、それぞれ更新するための経費となっております。このページは以上でございます。

次のページ、83ページ、84ページをお願いいたします。6目基金積立金5,512万3,000円、比較5,128万6,000円の増額となっております。ここにつきましては、それぞれ基金利子の積立金、それから新たに積み立てる額を計上してございます。積立金の下2段でございますけれども、地籍整備基金3,040万円、そば産地活性化振興基金2,300万円について増額となっております。これにつきましては、今までございましたけれども、過疎債のソフトとして財源を求め、基金に積み立てるものでございます。この目は以上でございます。

7目支所及び出張所費、本年度231万7,000円、26万7,000円の増額となっております。増額部分につきましては、18節備品購入費におきまして庁舎備品購入費、これにつきましてはストーブの老朽化により1台更新するため24万5,000円を計上してございます。この目については以上でございます。

次のページ、85ページ、86ページをお願いいたします。10目地域振興費、本年度3,720万7,000円、801万6,000円の減額となっております。この目につきましては、総務課のほかに地域振興室、住民課もあり、総務課関係につきましては自治区、簡易郵便局の経費について計上してございます。総務課関係につきましては、19節地域コミュニティ推進事業補助金、これにつきましても施政方針等で申し上げましたとおり、新設するというので250万円の計上となっております。自治区活動交付金ですが昨年は405万円でありましたけれども、各自治区の財源対策ということもありまして450万円ということで増額をしているところでございます。

続きまして、11目地域情報通信費、本年度1,692万1,000円、103万2,000円の増額でございます。この目につきましては、光回線、IT告知端末の維持管理費となっております。次のページをお願いいたします。87ページ、88ページをお願いいたします。この中では、15節工事請負費、光情報通信設備新設、撤去工事389万円でありますけれども、これにつきましては通常分といたしまして200万円を計上しておりますけれども、今年につきましては新規といたしまして公営住宅の緑ヶ丘団地の取り壊しがあるため、それにかかわる経費として189万円を増額しているところでございます。この目については以上でございます。

次、12目総合行政情報システム費、本年度3,840万7,000円、893万7,000円の減額となっております。ここにつきましては、13節委託料におきまして昨年番号法導入にかかわる年金、税などのシステム改修があり、1,125万円程度ありましたので、これがなくなったことにより減額となったことが大きな要因となっております。

す。この目は以上でございます。

続きまして、91ページをお願いいたします。91ページ上段ですけれども、恩給及び退職年金費、皆減となっておりますけれども、これにつきましては対象者がいなくなったため減額となっております。

2項1目税務総務費、本年度174万6,000円、113万2,000円の減額となっております。ここの減額の大きな要因につきましては、28年度におきまして30年度に行う固定資産評価替えに伴う鑑定評価の委託料を実施していたことにより減額となっております。これについては、112万9,000円の委託料の減額となっております。この目については以上でございます。

続きまして、93ページ、94ページをお願いいたします。4項1目選挙管理委員会費、本年度41万円、比較4万5,000円の減額です。ここについては特にございませぬ。

次、参議院議員選挙費515万1,000円の減額、これは対象となる経費がございませんので、皆減となっております。

5項1目統計調査総務費、本年度1万3,000円、1万円の減額でございます。こゝも特にございませぬ。

2目諸統計調査費6万4,000円、50万3,000円の減額となっております。これにつきましては、平成28年度におきましては経済センサス調査がありまして、それらの調査員報酬が42万4,000円ありましたが、今年実施しないので、その分が減額となっております。この目については以上でございます。

続きまして、95ページ、96ページをお願いいたします。6項1目監査委員費、本年度124万1,000円、比較ゼロとなっております。この目につきましても通常の経費でございますので、特に説明することはございませぬ。

以上、1款と2款について説明を終わります。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。

これから質疑に入ります。委員各位に申し上げます。質疑は関係明瞭に、また一問一答となるようお願いいたします。

事項別明細書73ページから質疑を受けます。73ページ、74ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 75ページ、76ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 77ページ、78ページについて質疑ありませんか。

小関委員。

○5番（小関和明君） 委託料の中で先ほど説明いただきましたけれども、町長車運転業務委託、この数値の算定の基礎は何でしょうか。

○委員長（齋藤雅文君） 総務課長。

○総務課長（大野克彦君） 145万2,000円を計上してございますけれども、今予算の計上につきましては一応時間単価を決め、それプラス実際見込んでおります時間数を掛けて計上してございます。時間単価の、予算につきましては今まで勤めておりました臨時職員の方の時間単価に割り返しそれを基礎としており、あと28年度実働で出たものをプラスアルファいたしまして時間を設定し、単価掛ける時間ということで予算計上させていただいております。

○委員長（齋藤雅文君） 小関委員。

○5番（小関和明君） 前任者の勤務帯によっての時間割りというご説明でしたけれども、この数字の総体時間というのはどの程度見込んでいるのでしょうか。

○委員長（齋藤雅文君） 総務課長。

○総務課長（大野克彦君） 今予算上は800時間ということで計上してございます。

○委員長（齋藤雅文君） ほかに77ページ、78ページ、質疑ありませんか。

田丸委員。

○7番（田丸利博君） 今の関連なのですが、お金の部分ではなく今度配車の部分と申しますか、業務が発生したときの関係ですけれども、常駐するというのではなくて、前もって連絡をして、そのときに運転をしていただくという流れになるのでしょうか。

○委員長（齋藤雅文君） 総務課長。

○総務課長（大野克彦君） 正式な流れにつきましては、これから今後見積もり合わせ等をして正式な業者が決まってから、その業者と打ち合わせすることになりますけれども、今考えているものは、今日言って明日ということはかなり難しいと思いますので、ある程度1週間なり1カ月の予定を組んで事前にお渡しするというので進めたいと思っております。あと、その運転してもらう方については、役場に常駐ということは考えてございません。必要なときに公用車のところに来て運転業務を行い、それが終わった後はまた自分の会社なりへそれぞれ帰っていただくこととし、役場への常駐とは考えてございません。

以上です。

○委員長（齋藤雅文君） ほかに質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 79ページ、80ページ、質疑ありませんか。

稲見委員。

○1番（稲見隆浩君） 文書広報費についてお伺いしたいのですが、ホームページ作成委託、今回からリニューアルするとのことですが、今までそんなに更新していないような話をしていましたが、リニューアル後はどの様に維持管理をしていくのか、お聞かせください。

○委員長（齋藤雅文君） 総務課長。

○総務課長（大野克彦君） 今のご質問であります、従来もそれぞれ業者に委託してし

ていたのですけれど、その業者とのやりとりの中でなかなか業者が対応してくれないというような部分もあったというふうに聞いております。今回はそれを一回ゼロベースにいたしまして、また新たに何社かの業者説明を聞いて、新たな会社と契約をしたいということであり、それぞれ行政情報におきましても日々変わる部分がございますので、それにすぐ対応できる、またそういった対応してくれる業者を選んでやっていきたいと思っております。町民の方々にも新しい情報がすぐわかるような形で更新していきたいと思っておりますので、ご理解をいただきたいと思っております。

○委員長（齋藤雅文君） ほかにこのページ、質疑ありませんか。

市村委員。

○4番（市村裕一君） お試し住宅の管理委託料ということですが、去年からこの施設は始まったと思うのですけれども……

○委員長（齋藤雅文君） 市村委員、恐れ入ります。お試し住宅は地域振興室になって、総務課のほうから外れますので。

○4番（市村裕一君） すみません。

○委員長（齋藤雅文君） ほかにありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 81ページ、82ページ、質疑ありませんか。

田丸委員。

○7番（田丸利博君） 4目のふるさと納税謝品ということで1,000万円見られていますが、実際はふるさと納税の予定が2,000万円ということで、半分と、それと13番目のふるさと納税代行業務委託料、これが13%で280万円、それと使用料及び賃借料としてシステム料の部分で23万6,000円、実際はこの経費の分を引くと余り残らず600万円程度かなと思うのですけれども、それについてはこれが妥当なのか、ほかの自治体から見ても妥当な線なのか、その辺をお聞かせいただきたいのですが。

○委員長（齋藤雅文君） 総務課長。

○総務課長（大野克彦君） 返礼品につきましては、近隣の町村と比べますと最大で5割が多いようでありまして、大体ほかの町村も5割以内ということで定めているようでございます。それからそのほかインターネット会社、クレジット会社にかかわる手数料、委託料につきましては、それぞれ決まっていると聞いておりますので、本町だけが特別高いとか低いというようなことはないと思います。あと、実際に経費がかかるので、600万円程度の差額部分が出るというようなことではございますけれども、これにつきましても大体近隣の町村は同じような形だと聞いております。また、ふるさと納税をしてもらわないと意味がないということもありますので、そのニーズに合うために、本当は返礼品が3割なり2割で安ければ、その分差額が出るというような形になりますが、そこは需要と供給というようなバランスもございまして、実施していかなければならないということではございますが、大体今のところ返礼品については5割以内が妥当かなということで進めていき

いと思います。

以上です。

○委員長（齋藤雅文君） ほかにこのページ。

中川委員。

○3番（中川秀雄君） 同じ目の関係ですけれども、委託料関係でふるさと納税代行委託料で約13%ということで280万円ほど計上しておりますけれども、この場合は2,000万円の寄附があるということを前提にしておりますけれども、率で支払うものなのか、それとも固定で支払っていくものなのか、どちらなのでしょう。

○委員長（齋藤雅文君） 総務課長。

○総務課長（大野克彦君） これにつきましては、委託料と、それから利用料ともに13%と1%ということで予算計上しておりますけれども、予算上は最大限、2,000万円あった場合の最大限ということで計上しております。寄附額に対応する率ということで、一定ではなくその寄附額によって変わるということをご理解いただきたいと思います。

○委員長（齋藤雅文君） ほかにこのページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 83ページ、84ページ、質疑ありませんか。

小関委員。

○5番（小関和明君） 基金への積み立てですけれども、後段2点についての必要額という説明でしたけれども、この数字を出すに当たっての根拠を提示してください。

○委員長（齋藤雅文君） 総務課長。

○総務課長（大野克彦君） 地籍整備基金とそば産地活性化振興基金ということで、これらにつきましてはそれぞれ計画を持って基金を積み立てしてございますけれども、根拠につきましてはそれぞれ条例で基金設置をしてございますが、財源を過疎債に求めてそれぞれ積み立てするものでございます。地籍整備基金の、充当先につきましてはJR跡地の地籍整備の測量設計等にかかわる部分として積み立てをし、また支出もそれぞれ今年も組んでございますけれども、それに充当するためとのことで基金に積み立てるものでございます。ソバの活性化基金につきましては、それぞれの充当先にソバに関する項目ということで、高校のソバに関する授業、技術センターのソバの種管理等々にかかわる経費について計上しているところでございます。このソバの活性化基金につきましては、それぞれの目的ごとの歳出にて支出については計上されているところでございます。

以上です。

○委員長（齋藤雅文君） ほかにこのページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 85ページ、86ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 87ページ、88ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 91ページ、92ページです。質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 93ページ、94ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 95ページ、96ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 1款、2款全般について質疑を受けます。ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) これで1款、2款の質疑を終わります。

それでは、次に進ませていただきます。次に、9款消防費の説明をお願いいたします。
総務課長。

○総務課長(大野克彦君) それでは、149ページ、150ページをお願いいたします。
9款1項1目消防総務費1億5,015万1,000円、299万6,000円の減額となっております。これにつきましては、さきの副町長の概要説明のとおりとなっております。

続きまして、2目災害対策費213万9,000円、174万7,000円の増額となっております。増額につきましては、1点目、3節職員手当が増額となっております。特殊勤務手当29万2,000円、時間外勤務手当50万円の増額となっております。これにつきましては、28年度におきましても補正にて計上した部分でございますが、災害、それに対応するため職員に対する手当ということで計上したところでございます。続きまして、11節、消耗品におきまして昨年より55万4,000円の増額となっております。これにつきましては、災害用の備蓄品ということで、現在についてもストーブ等は用意している部分はございますが、まだまだ足りない部分がございますので、これは今年だけでなく今後も続けて計画的に整備していきたいと考えてございます。まだ具体的な内容は決まっておりますけれども、例えば子供用、乳児用のミルクですとか、非常用のトイレ等々をこれからまた新たに整備したいと考えているところでございます。この目については以上でございます。

○委員長(齋藤雅文君) 説明が終わりました。

事項別明細書149ページ、150ページについて質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 9款の質疑終わらせていただいてよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) それでは、終わらせていただきます。

次に進みます。12款公債費、13款諸支出金、14款職員費、15款予備費を一括して審査を行います。

説明を願います。

総務課長。

○総務課長（大野克彦君） それでは、181ページ、182ページをお願いいたします。12款1項1目元金4億1,447万円、比較1,251万8,000円。

次の2目利子3,116万1,000円、1,484万7,000円の減額となっております。内容につきましては、副町長の概要説明のとおりでございますけれども、地方債におきましては予算書の197ページにおきまして現在高、それから今年の見込み、それから年度末の残高見込みということでそれぞれ調書を付けておりますので、後ほどお目通しをいただきたいと思っております。この目については以上でございます。

次のページをお願いいたします。183ページ、184ページになります。13款1項1目土地取得費100万円、比較ゼロということで、ここについては特にございませぬ。

次のページをお願いいたします。185ページ、186ページになります。14款1項1目職員給与費6億3,366万4,000円、比較35万6,000円の減額となっております。

職員費につきましては、その後にあります189ページからの資料についてご説明したいと思っております。189ページをお願いいたします。ここに給与費明細書ということで掲載してございますが、189ページにつきましては特別職の分についてでございます。その中で、上の段で長等とありますけれども、その部分が職員費に入っております町長、副町長、教育長、3人分の給与等を掲載してございます。下に比較というところがありますけれども、町長等々につきましてはさきの議案で可決いただきましたけれど、給料の減額を行うことと役職加算の増額をするというので、それぞれ給与については96万円の減額、期末手当については21万9,000円の増額というようなことになってございます。共済費等も含めると98万4,000円の減額となるところでございます。

続きまして、次の190ページにつきましては一般職の給与について、給与、共済費、扶養手当等の手当を記載しているところでございます。ここににつきましては、昨年病院会計がございましたが、今回は一般会計に移ったこと、それから職員の採用、退職等の増減があるため、このような増減となっております。トータル的な人数では、予算上ではありますけれども、73人ということで昨年よりは増額となり、全体といたしましても2,001万3,000円の増額ということで計上しているところでございます。なお、それよりまた詳しい内容ということで、191ページになりますけれども、ここにそれぞれ増減の内訳ということで、職員給与につきましては1,197万1,000円の増額となっておりますけれども、それぞれ給与改定、昇格、昇給、その他増減分ということで、会計間異動等を記載してございます。それらの理由により増額になるということでございます。あと手当につきましても、期末、勤勉手当の月が4.2から4.3に上がったこと、役職加算もそれぞれ行政改革前の率に戻すということでありましたので、それに伴う増額となっております。そのほかの増加分といたしましては、管理職特別勤務手当の新設、

それから月々の管理職手当の増額、定額化による増額ということで、そういったことで1,700万円程度の増額と見込んでいるところでございます。職員給与については以上で終わります。

続きまして、次のページ、187ページ、188ページをお願いいたします。15款1項1目予備費500万円、これも特にございません。

以上で説明を終わります。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。

事項別明細書181ページから質疑を受けます。181ページ、182ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 183ページ、184ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 185ページ、186ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 187ページ、188ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 12款から15款全般について質疑を受けます。全般の質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） これで12款から15款までに關する質疑を終わります。

以上をもちまして総務課所管の質疑を終わらせていただきます。

暫時休憩いたします。

休憩 午前 9時50分

再開 午前 9時52分

○委員長（齋藤雅文君） それでは、休憩を閉じて審査を続けます。

地域振興室所管の2款総務費の説明をお願いいたします。

地域振興室長。

○地域振興室長（山本久稔君） それでは、地域振興室分の予算説明をさせていただきます。

77ページ、78ページ、2款1項2目企画費からになります。2款1項2目企画費、本年度6,765万7,000円、前年比236万9,000円の減でございます。節に参ります。1節報酬でございますが、企業立地促進審議会委員報酬2万4,000円、登録商標審議会委員報酬1万4,000円、これにつきましては前年度同様でございますので特にございません。次の地域公共交通会議委員報酬でございますが、これにつきましては

は本年28年9月からこの3月まで4回実施しております。平成29年度につきましては町内6名、町外2名の6回分、20万4,000円見ております。次のほろみん号運行実証試験検討委員会委員報酬6万8,000円につきましては、前年度同額でございますので、特にございません。次の民間賃貸住宅建設事業選定委員会委員報酬1万1,000円につきましては、民間賃貸住宅の事業については公募制であり、またプレゼンテーションも終えまして審査会で事業者を決定しております。この審査会ですが、従来庁内で組織を構成しておりましたが、29年度からは第三者、外部も入れて選定会を行うこととして、3名分を計上してございます。9節旅費です。費用弁償4万8,000円につきましては、1節の報酬に係る分の費用弁償でございます。普通旅費でございますが、54万6,000円です。これは、前年同様でございますので、特にございません。特別旅費23万5,000円ですが、これにつきましては各種イベント、あと要請活動等としまして、特に首都圏の経費として特別旅費を見ております。このうち半分の23万5,000円を残しまして、残り半分にしましては新設科目、14目地方創生事業費へ移動しております。続きまして、11節需用費に参ります。消耗品費ですが、154万5,000円を計上しております。このうち150万円につきましては、開基120年事業としまして町民が一堂に会する集いの開催を見込んでございます。続きまして、燃料費でございますが125万8,000円、これにつきましては4月からも継続して運行しますほろみん号の燃料費としまして123万700円を見ております。残りはお試し住宅の燃料費となっております。

次のページをお願いします。79ページ、80ページになります。需用費の食糧費になります。食糧費255万円ですが、このうち250万円は開基120年事業、町民が一堂に会する集いとして見ております。先ほどの消耗品費と合わせてこの事業に400万円の計上としております。開基100年のときの焼き肉大会、町民運動会など、そのときに410万から420万円ぐらいの経費がかかっております。それを見込んで今回合わせて400万円ということで計上させていただいております。続きまして、印刷費でございますが、87万7,000円でございます。このうち86万4,000円が120年事業の一端としまして記念品を各戸、町内全戸に配布したいと考えております。今のところですが、中身につきましては例年実施しておりますフォトコンテストの写真を活用したく、フォトコンを掲載したカレンダーを作成し、配布したいと今のところ考えております。電気料2万6,000円から水道料、下水道料、ガス料、修繕料5万円まで、電気代から修繕料、次の12節役務費の洗濯料2万円、13節委託料の一番上です。除雪業務委託料の10万円、ここまでは28年度から実施していますお試し住宅分の維持費として計上してございます。13節委託料、ほろみん号試験運行業務委託料についてですが、これは施政方針等でも申し上げましたとおり、4月以降も引き続き無償で運行するほろみん号の委託料としているものでございます。内容につきましては、人件費と事務費、軽微な消耗品ということで534万8,000円となっております。次、JR跡地地籍測量業務委託料3,000万

円でございますが、これも28年度同様、北の方向に向かって用地処理の測量を行っていききたいということでございます。お試し住宅管理業務委託料でございますが、38万円です。これにつきましては、お試し住宅の入居前、入居後の清掃、また夏の草刈り、冬場の屋根雪の除雪等として38万円を計上してございます。続きまして、公共施設誘導標識設置業務委託料60万円でございますが、これにつきましては町内の公共施設の看板が非常に少ないということで、国道の標識、これの柱と一緒に懸架させていただくことで、1つ20万円、3カ所分として見ております。14節参ります。使用料及び賃借料でございます。車借り上げ料129万6,000円ですが、ほろみん号のリース代として計上しております。28年度対比77万8,000円の減ということになっております。ちなみに、ほろみん号の経費でございますが、29年度については先ほどの燃料費、委託料、今ほどの車借り上げ料合わせまして788万1,000円ということで予算計上させていただいております。国有地借り上げ料、これにつきましては例年同様でございますが、雨竜川第3橋梁の用地代としまして国に支払いしているものでございます。19節負担金、補助及び交付金ということで、一番上の全国山村振興連盟負担金4万円からテッシ・オ・ペツ賑わい創出協議会負担金2万3,000円、ここまでは前年度同様となっておりますので、特に説明はございません。宗谷本線活性化推進協議会負担金でございますが、この宗谷本線活性化推進協議会も、JR北海道の存続問題としまして宗谷線に係る部分でございます。平成28年の11月に設立されまして、JR北海道の宗谷線存続、廃止に向けた広域的な取り組みとしまして、旭川市から利尻、礼文、ここまでの24市町村、5団体での負担となります。続きまして、企業立地促進補助金25万4,000円ですが、企業立地の補助金で、平成24年に発生しました利子補給1件分を計上しております。続きまして、夢・人・郷づくり補助金ですが、120万円、これにつきましては前年度同様でございますので、特にございません。民間住宅建設事業補助金2,000万円、これにつきましても前年度同額でございますが、28年度から30年度まで期間を延長しているため計上しているところでございます。諸会議負担金4万円ですが、これについては前年同様ということで、特にございません。

2款1項2目企画費については以上でございます。

続きまして、次のページ、81ページ、82ページお願いいたします。2款1項5目財産管理費、このうち地域振興室分としまして地域振興室で管理します公用車、プロボックスの経費が入っております。17年度購入、11年を経過しております。このうち11節需用費、消耗品57万7,000円のうち1万円、燃料費231万9,000円のうち18万1,000円、修繕料194万6,000円のうち3万円ということで、公用車分、1台ですが、合計22万1,000円を計上しております。本年度は車検等もございませんので、公用車については以上でございます。

続きまして、85ページ、86ページお願いいたします。2款1項10目地域振興費でございますが、昨年度、28年度までにつきましてはこの科目に地域振興室分のソバ振興

に係る経費を計上しておりました。29年度からにつきましては、次に述べます2款1項14目、新設科目でございます地方創生事業費に全部移し替えておりますので、このページは29年度からございません。

新設科目のほうに参りたいと思います。89ページ、90ページお願いいたします。2款1項14目地方創生事業費、新設科目でございます。大方は先ほどの地域振興費から移動しております。これにつきましては、本年度1,006万2,000円ということで皆増ということになってございます。節に参ります。1節報酬ですが、そば振興推進協議会委員報酬としまして6万8,000円、これは10目地域振興費より来ております。続きまして、まち・ひと・しごと創生総合戦略策定審議会委員報酬としまして17万円でございます。これにつきましては、28年度は6月の補正予算で計上させていただきましたが、27年10月に策定しております地方版の総合戦略、この業務評価をしなければならないということで国から義務付けが来ております。当時の策定審議会の委員を中心としまして、25名、2回分を計上してございます。続きまして、8節報償費でございます。物産宣伝費13万6,000円ですが、これは10目地域振興費より移動してございます。昨年と同様でございますので、特にございません。講師謝礼264万1,000円でございますが、これにつきましてはそばの里大使が5回分、そばの里アドバイザーが3回分、この招聘分の費用として見ております。また、そば料理講習会及びそばの日は、7月31日です。このときにそば打ち講習会行っておりますので、この講師謝礼分も入ってございます。9節旅費でございます。費用弁償1万6,000円につきましては、1節報酬に係る分でございます。普通旅費24万8,000円でございますが、これは10目地域振興費から移動してございますが、特にございません。特別旅費63万5,000円でございます。63万5,000円のうち23万5,000円につきましては、2目企画費から移動してございます。残りの40万円でございますが、これにつきましては後ほど13節の委託料で説明いたしますが、共同販売拠点出展業務、いわゆるアンテナショップです。これに出展するに当たり、年8回の合同、単独イベントがございます。この分の旅費として見ております。11節需用費、消耗品で23万円です。この23万円のうち20万円につきましては、13節、アンテナショップの出展に係る装飾ですとか準備等に係る経費として見てございます。食糧費3万4,000円でございますが、これは各種事業に係ります講師等の弁当代などとして見てございます。印刷費26万3,000円でございますが、そば料理レシピ集という本が白い表紙でございます。これを3,000冊増刷したいく26万3,000円計上してございます。12節役務費、洗濯料でございますが、これも10目地域振興費から移動してございます。ゆるキャラのほろみんの着ぐるみのクリーニング代ということでございます。13節委託料、共同販売拠点出展業務委託料440万円でございます。町長の施政方針でも申し上げたところでございますが、ソバ日本一の里として幌加内町の関東圏における知名度向上としまして、平成27年12月に新しく開店しました東京浅草にあります「まるごとにつぼん」、ここに出展する経費として440万円見てござい

ます。まるごとっぽんは、俗に言うアンテナショップですけれども、これにつきましては全国から20の市町村が各ブースに分かれて地元の特産品を展示販売するというところでございまして、商品が並んでいる通常のアンテナショップとは違ひまして、市町村のPRに特化しました通年営業のアンテナショップということでございます。先ほど20ブースに分かれているということでしたが、1ブース、これが約1坪でございます。このスペースに地元の特産品を10から15品目展示してございます。そのほかにプロジェクター等による動画でそれぞれの市町村をPRするということができ、展示とそこで即売、販売も行うということでございます。通年営業のほかに、先ほど旅費でも申しあげました年間約8回の合同、単独イベントを行うということでございます。この共同販売、アンテナショップに係る経費につきましては、この委託料と先ほどの旅費、消耗品合わせまして合計500万円、これをこのたび計上しているものでございます。16節原材料費に参りたいと思います。1万7,000円ですが、7月31日のそばの日、この日にそば打ち講習会を行っておりますので、この材料代となっております。19節負担金、補助及び交付金でございますが、そば普及助成事業補助金15万円につきましては、これも7月31日、そばの日に各そば店への助成券としての補助金ということでございます。地方創生運営事業補助金でございますが、100万円となっております。これにつきましては、28年度は石破衆議院議員を招聘して講演会を行うということで300万円を予算化して計上させていただいております。29年度につきましても地方創生につながる運営、または顧問料等として100万円を計上させていただいたところでございます。

地域振興室分の2款については以上のとおりでございます。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。

地域振興室所管の2款総務費の質疑を受けます。事項別明細書77ページに戻ってください。77ページ、78ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 79ページ、80ページ、質疑ありませんか。

市村委員。

○4番（市村裕一君） 先ほど間違ってしまったのですけれども、お試し住宅のことについてお聞きします。28年度から始めたと思うのですけれども、去年1年やってみての結果と今年どのように家族を呼ぼうとしているのか、若い世代とかいろんなことあると思うのですが、その辺聞かせてください。

○委員長（齋藤雅文君） 地域振興室主幹。

○地域振興室主幹（野口卓也君） 今のご質問についてご説明させていただきます。

本年度8月に供用開始いたしましたお試し住宅です。今年度の実績につきましては、9月の月上旬から2週間ほど1世帯4名の方々が実際にご利用いただいている状況です。残念ながらその後についてと今のところの実績はまだありませんが、引き続きホームページ等で掲載していますので、問い合わせ等は相変わらず、数は少ないですけれども、時折来て

いるのが現状です。それとあわせて、介護人材の関係等々でも、今後介護人材で幌加内に来たいという方々も少しずつ連絡が増えている状況ですので、それに合わせてそういった施設を利用しながら検討してほしいということを現在もいろいろな場面で説明をさせていただいている状況です。

以上です。

○委員長（齋藤雅文君） このページ、ほかにありませんか。79ページ、80ページです。質疑ありませんか。

田丸委員。

○7番（田丸利博君） 80ページの民間賃貸住宅の建設事業補助金2,000万円ということで、地域振興室、本来であれば住民課も絡んでいる話だと思うのですが、今1棟、民賃がいき上がってきて、またさらにその裏にも民賃を建てたいというお話も聞くのですが、その中で補助申請をするのか、しないのかはともかくとして、今地域的にいっても一極に集中して建設が進んでいるような様子であり、町内会の中の住民の住む拠点が変わってきているのかなという雰囲気がありまして、1カ所というか、極端に固まってきているなという部分もあり、そういった意味で民賃の建設事業の補助金申請されたときの土地の斡旋といいますか、そういうのも当然町有地なりもされるのでしょうかけれども、そういった部分の分散型ということを考えているのか。また、相手の希望どおり建てれば認めますというふうを考えているのか、これは住民課とも関係してくるのかなとは思いますが、その辺がわかれば、お答えいただきたいなと思うのですが。

○委員長（齋藤雅文君） 地域振興室長。

○地域振興室長（山本久稔君） 地域振興室だけの話ではないので、私の答えられる範囲になるのですが、建てる土地につきましては簡単に言うと2パターン考えられ、民有地、また一方では町有地というのがあります。公募があったときに、どこに建てるというのも当然一緒に申請といいますか、プレゼンテーションに上がってくるところでございます。民間の土地に建てるとなると我々では止め切れない部分が当然出てくるので、そこについてはどこまで誘導できるのかというのは非常に難しい部分であると思います。一方で、町有地につきましても相談があれば斡旋というのは行っております。先の議会でも30年の無償ですとか、そういう議決をさせてもらったこともあります。29年度につきましては、公営住宅の撤去などで、その予算も上がっているはずでございます。緑ヶ丘団地など人の減少というのも当然わかっていますので、向こうの再編といいますか、そちらとしてもどうやっていくのかと、町としては上下水道、インフラの現在の設置状況もありますので、それは将来的に見据えて、町内会のバランスもできる限りとっていきたいと考えております。

以上です。

○委員長（齋藤雅文君） ほかにありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 81 ページ、82 ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 89 ページ、90 ページ。

中川委員。

○3 番（中川秀雄君） 国の地方創生推進交付金への対応関係なのですが、創生交付金ということで14年度ぐらいからいろいろな取り組みが始まっているかと思います。最近どういう流れでどういうふうに対応されるかという自体も私たちにはわからない部分があるのです。特に今回の場合地方創生事業費ということで新しい目も新設したということで、29年度のメインは先ほど言いました「まるごとにつぼん」への出展ということになるのかなと思いますけれども、これが推進交付金へ乗せるための計画というふうに対応してよろしいのでしょうか。

○委員長（齋藤雅文君） 地域振興室長。

○地域振興室長（山本久稔君） まず、地方創生交付金、名前がころころ変わっていくので、27年は支援型ですとか先行型とかあったと思います。28年につきましては、ソフトとしましては加速化交付金という名称となっております。28年後半からは推進交付金というふうに対応になります。加速化のときは補助率100%でしたので、これは昨年6月でしたか、朱鞠内湖の雇用創出を促すということで、170万円だったかと思います。これを計上させていただきまして、3月31日まで現在事業を進めているところでございます。残り、推進交付金につきましては28年度は既に終わっておりますが、29年度の継続、28年度からの継続、3年ないしは5年の継続も認められるということですので、継続事業と29年の新規事業というのが今1次があります。その後2次もあるというふうに対応しております。国としては、このソフト事業に1,000億円予算をしているということで、最終的には先ほど言いました地方版の戦略につながる事業でないといけないということで、結構出ているのですが、落とされてもいるとか、他町村も四苦八苦しているというような状況であります。現在29年度につきましては、単独でやるのか広域でやるのかは別としましても、シングルペアレント介護事業を本町で行っておりますので、それを何とか採択に持っていけないかということで保健福祉課と相談、協議を重ねているところでございます。

国の交付金はそこまでとしまして、予算に上がっています19節の地方創生運営事業補助金100万円ですが、これにつきましては特に補助金に特化したものではございません。もっと全般的に広い意味で使おうということで、協議会も設置しておりますので、そちらへの相談ですとか、そういうことの計画、企画もありますけれども、国会議員とのつながりですとか顧問料というのも必要な場面も出てきておりますので、そちら分も見ているということでございます。国の補助金と直接関係あるというものではございません。

以上です。

○委員長（齋藤雅文君） 中川委員。

○3番（中川秀雄君） 朱鞠内のほうの関係で28年度から申請して、継続事業で29年度も引き続き全体の1,000億の交付金の中に対応できる事業もあるというようなことも言っていたかと思うのですけれども、継続では確かさっき言ったシングルペアレントも一回乗せたような記憶はあるのですが、それらも含めて今現在29年度の1,000億円に、最終的に事業査定あると思いますから、乗るかどうかはわかりませんが、乗せようとしている、あるいは継続してやろうとしている事業というのはそれぞれどういう事業で、予算総額ではどのぐらいになるのですか、今現在わかっているところでお聞かせください。

○委員長（齋藤雅文君） 地域振興室長。

○地域振興室長（山本久稔君） お答えいたします。

加速化交付金の朱鞠内の雇用創出につきましては、28年度単年事業ということですので、28年度で終了ということになります。加速化交付金につきましては、新たに事業を起こしていますので、今まである事業にかぶせて申請したというものではございませんので、当然その分の動きも出てくる。費用負担も出てくるという結果でございます。例えばですが、次の継続事業と今言いましたシングルペアレントにつきましては、国のほうの要綱等を見ますと広域でやれば5年間、単独であれば3年間の継続対象になるということでございます。ただし、個人への給付は認められないなどの話も出ていまして、結果的にいくら認められるのかというのはわかりません。結局道外の市町村と同じような事業をやっている。また、全国の相談会などにも出るとか、そういう経費をほかの市町村と組み合わせてやると結局5年まで引っ張れるというところもありますので、できれば広域で持っていきたいとは考えております。シングルペアレントについては、予算的には保健福祉課の予算であり確かな数字出てこないのですけれども、個人給付がたしか5人分ぐらい見えて、500万円ちょっとだったかと思えます。これは個人の給付なので、認められるかどうかというのはわかりません。また、5年、10年で報償金なるものを予定したかと思えますが、これは推進交付金が3年、5年ですので、ちょっと間に合わないかなと考えております。

以上です。

○委員長（齋藤雅文君） 中川委員。

○3番（中川秀雄君） 例えば29年度の交付金について、2月上旬から事前相談が始まり3月中に申請を受け付けして、5月ぐらいにも交付決定になるかもしれないということなのですけれども、今のお話を聞くと間に合わないと言ったら変ですが、具体的な申請行為ができないのかなという気がしているのですが、その辺の対応はどうなのでしょう。

○委員長（齋藤雅文君） 地域振興室長。

○地域振興室長（山本久稔君） あれば北海道、都道府県を経由して申請するのですが、事前相談が今日、明日締め切りということで、1回戦、事前相談は国に上げております。本申請が来週、21日から23日の間と来ていますので、事前相談というのが送った後に

国の内閣府から回答が来ます。そして、一部修正等も出てくるところもあるのですが、そういうのを含めて本申請、来週に上げてくださいということでございますので、シングルペアレントについては今日、明日中に単独で上げる予定でおります。広域でいければ広域の市町村と一緒に広域で上げたいと考えていますが、今日がタイムリミットの状態ではあるのですが、1次に上げて、5月下旬の交付決定となり、6月からの事業に対して交付金が対象となるということですので、今のところはそういうところで進めております。

○委員長（齋藤雅文君） ほかにこのページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 2款全体について質疑ありませんか。

田丸委員。

○7番（田丸利博君） 80ページ食糧費の部分で開基120周年事業ですが、その食糧費部分ということで先ほど100年のときの例、町民運動会の例を出されたのですけれども、今年の実費素案があればお聞かせいただきたいと思います。

○委員長（齋藤雅文君） 地域振興室長。

○地域振興室長（山本久稔君） 食糧費の150万円の話ですか。

（「250万円」の声あり）

○地域振興室長（山本久稔君） 食糧費250万円につきましては、中身についてはまだ何も決まってございません。あくまでも開基100年のときの食糧費参考にしております。消耗品の150万円につきましても、あのとき炭ですとか、そういうのも購入しているはずですし、そういうものということで大枠で今のところ考えております。内容につきましては、なかなか難しいのですけれども、できれば役場だけで考えるのではなく、町内の各種団体、こちらの予定でいいますと商工会青年部ですとか、ぜひとも農協の青年部なんかの皆さんと内容もできれば一緒に考えたいなとは思っております。商工会青年部のほうには一度声をかけさせてもらって、余りいい返答はなかったのですけれども、協力はしていただけるというような話も聞いております。あと、時期的なことなのですけれども、外でないとなれば皆さん難しいのかなと。開基100年のときの資料を見ますと、900名ぐらい、八百何十名だったかと思えます。ですので、それぐらいが来ていたということの予算でございます。ということは、施設の中、トイレ等も考えますとなかなかいい場所がない、外となりますと季節が逆に限定されるということでございます。一方で商工会青年部のビールパーティーなんかもありますので、それと余り近い日もどうなのだと、逆に言うと一緒にやるのもどうなのだとということも考えてはおります。もう余り期間もないのですけれども、その辺を煮詰めて、できれば各種団体これを機会に横のつながりができるような、今後に向けてそういうのもちよっと視野に入れて企画していきたいなというふうには考えております。

○委員長（齋藤雅文君） 2款全体について質疑ありませんか。

小関委員。

○5番（小関和明君） 今年度の町長施策の一つとして計上されておりますが、共同販売拠点出展業務委託料ということでございますが、前段の説明では展示スペースだと、本町日本一のソバ生産地の里として検索できるような状況なのだというご説明だったと思うのですけれども、そのテナント料としての400万円だと思うのですけれども、440万円ですか、旅費の部分についても63万5,000円。実は2月の中ほどに幕張メッセで、商工会も行ったのですが、全国のフードフェスタ、ここに行きますと道内の各市町村、また全国と言っていいのですけれども、地元の職員が行って一生懸命売り込んでいるのです。そうしないと振り向いてもらえない。ただスペースがあって、展示すればいいのかというようなことにつながっていくのでないか。この経費の使い方をどの程度考えて出展に臨むのか、その心意気も含めてちょっとお聞きしたいのですが。

○委員長（齋藤雅文君） 地域振興室長。

○地域振興室長（山本久稔君） お答えします。

13節委託料が中心となってくるのですけれども、これにつきましては通常は有楽町にありますどさんこプラザでしたか、ああいうところについては北海道の商品が乾物なら乾物で各町が並んでいるですとか、そういうふうに並べられて、あの中で幌加内町を有名にする、位置を覚えてもらう、名前を覚えてもらうというのは非常に難しいかと思っております。これにつきましては、今回は各ブース1坪程度と広くはないのですが、そこで幌加内町の特産品、これは食料に限らず、工芸品でも構わないというふうに言われております。ただ、生鮮食料品は無理なのですけれども。そこで例えば装飾ですとかポップ、値段表とか、説明ですとか、動画の作成、あとはそこで売ってくれる方々、商品管理、あと逆に言いますとどの商品がどういう理由で売れて、そのデータ管理も全部して、今回幌加内町から商品を提供していただく事業者さんのほうにバックアップしてもらえると、そういう人件費まで入ったの440万円ということになっております。小関委員のおっしゃるとおり、各町から売りに行っていくという意気込み、これについてはこれだけではなかなか有名にならないというのがありますので、単独のイベント、同じ建物の違うスペースを使って幌加内町を売り込むという単独のイベントです。例えばそば打ちをやるですとか、そういうのが単独で年4回、20が集まった合同が年4回、計8回ということで、それは当然こちらから出向いていかなければいけないということもあります。あと、予算には見えないのですけれども、各市町村のブース横で、売り子さんがPR、試飲等もしながら、それはいつ行ってやっても構わないと聞いております。人件費等の問題もありますし、旅費の問題もあるので、常時というわけにはいかないのですけれども、これにつきましては商品を提供していただく事業者さんに既に2回説明をいただいております。何を出すのかと。事業者さんのほうには関東圏で自分のところの商品がどういうイメージを持たれている等を肌で感じてもらいたいというのもございますので、最低でも1度は行って1日なり2日なり3日なり、そういうのにも立ってPR等もしていただきたいというふうに考えてございます。

以上です。

○委員長（齋藤雅文君） 稲見委員、ありますか。

どうぞ。

○1番（稲見隆浩君） 1つお伺いしたいのですけれども、たしかそば大使監修のカップラーメンを作成しましたが、その予算は今回入っているのかどうか。もし入っていないのであれば、今後試験の結果等を踏まえてどういうふうに進めていくのか、お聞きしたいと思うのですけれども、お願いします。

○委員長（齋藤雅文君） 地域振興室長。

○地域振興室長（山本久稔君） お答えします。

カップ麺につきましては、試験的ということで昨年予算を計上して、議決いただきまして、5,000個作らせています。5,000個というのが最低ロットでございましたので、それ以上少ない数は無理だったということがございます。町民皆様方に配布させていただいたほかに、日頃おつき合いのある関係機関等にいろいろ配らせていただきました。今手元には数的なデータはないのですけれども、聞こえてくる範囲内では非常に好評ということでお話しいただいております。次に、どうするのかという話なのですけれども、行政としましては当然営業するつもりはないので、町内の事業者さん、商業等を営んでいただいている方が手を挙げて、製作、販売に至ってもらいたいというのが一番のところでございます。29年度予算にはその分の作成経費というのは入っておりません。ただ、評判がいいので、もったいないなというイメージはございます。今後町が基本的に商売するというのもどうなのだろうというのもございますので、できれば民間にお任せしたいというのをまず念頭に置いて、次のカップ麺をどうしていくかというのを考えていきたいというふうに考えております。

○委員長（齋藤雅文君） ほかにないようでしたらば、2款全体の質疑を終了いたします。

次に、6款農林水産業費のほうの地域振興室担当のところをお願いいたします。

地域振興室長。

○地域振興室長（山本久稔君） それでは、6款のほうに参りたいと思います。125ページ、126ページお願いいたします。6款1項3目農業振興費のうちの地域振興室分を説明させていただきます。3目農業振興費のうち、19節負担金、補助及び交付金ということになります。まず、一番上の町開発促進期成会負担金のうち、地域振興室分がでございます。31万円のうち23万円でございます。次の全国麺類文化地域間交流推進協議会負担金10万円、社団法人日本蕎麦協会年会費5万円、これが地域振興室分となってございます。例年同様でございますので、特に説明することはございません。この節一番下のそば活性化協議会助成金81万円、そば活性化協議会に助成しているものでございます。これも前年度同様でございますので、特にございません。続きまして、25節積立金、これの上から4行目です。基金積立金利子、そば産地活性化振興ということで1,000円、これは利子でございます。これも特にございません。

6 款については以上でございます。

○委員長（齋藤雅文君） 説明終わりましたので、質疑に入ります。

事項別明細書 1 2 5 ページ、1 2 6 ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） これで6 款を終わらせていただいてよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） それでは、商工費のほうに入りまして、地域振興室担当のところに移ります。

説明をお願いします。

地域振興室長。

○地域振興室長（山本久稔君） 7 款のほうに参りたいと思います。1 3 9 ページ、1 4 0 ページお願いいたします。7 款1 項2 目観光費でございます。観光費のうち、1 9 節負担金、補助及び交付金、1 4 0 ページになりますが、これのうち下から2 行目、イベント協賛交付金4 2 0 万円でございます。この4 2 0 万円のうち3 6 0 万円がそば祭りの助成金、また3 0 万円がフォトコンテストに係る助成金で、地域振興室のほうで3 9 0 万円として計上させていただいております。

7 款、以上でございます。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。

7 款の質疑を受けます。質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） これで7 款の質疑を終わらせていただきます。

以上で地域振興室所管の質疑を終了いたします。

暫時休憩にいたします。

休憩 午前1 0 時4 3 分

再開 午前1 0 時5 3 分

○委員長（齋藤雅文君） それでは、休憩を閉じて審査を続けます。

住民課所管、2 款総務費の説明をお願いいたします。

住民課長。

○住民課長（竹谷浩昌君） それでは、住民課分の予算説明をさせていただきます。

8 1 ページ、8 2 ページ、2 款1 項5 目財産管理費からになります。昨年度一部施行いたしました沼牛賃貸住宅内道路の側溝改修工事の残り、東側、延長6 1 メートルを施行し、全区間の完了を予定しているところであります。この目の説明は以上になります。

次に、8 5 ページをお開きください。1 0 目地域振興費、この目も住民課以外の予算含まれておりますので、住民課分についてご説明いたします。住民課分の予算総額は1, 6

14万6,000円、前年比844万1,000円と大きく増となっております。これにつきましては、昨年度補正予算にて実施いたしました冬期生活除雪支援事業補助金の皆増が主な要因であります。19節負担金、補助及び交付金の上から2段目になりますが、冬期生活除雪支援事業補助金940万円でありますけれども、これにつきましては昨年度より実施しております除雪機械の購入に対する補助金であります。28年度は30件の補助実績となっており、本年度は個人の上限額40万円ですけれども、その分を20件分、委託、上限額70万円、これにつきましては2件分を見込みまして予算を計上したところであります。次に、上から4段目の上幌加内自治区100周年記念事業補助金50万円ですが、町長の施政方針で述べましたとおり、本年度上幌加内自治区が開基100周年を迎えられ、記念式典を実施されるということから、これまでの自治区同様に50万円を上限額として助成することとしたところでございます。次に、一番下段の路線バス定期券購入助成金119万1,000円ですが、本年度につきましては深川方面20名、名寄方面2名分を予算計上したところでございます。この人数につきましては、新1年生の最大数を予算計上しております。この目の説明は以上になります。

次のページをお願いいたします。下の13目交通安全対策費、また次のページをお開きください。15節工事請負費、交通安全施設整備費100万円ですが、これにつきましては道路の区画線工事で、本年度も実施することとし、予算を計上したところであります。次に、19節負担金、補助及び交付金の下から2段目、チャイルドシート等購入費助成金10万円ですが、上限額2万円の5件分を予算計上したところでございます。28年度につきましては、6件の助成を行ったところでございます。この目の説明は以上になります。

次のページをお願いいたします。3項1目戸籍住民登録費、予算額57万8,000円、前年比21万1,000円の増であります。19節負担金、補助及び交付金の一番下段になりますが、通知カード関連事務委任交付金29万7,000円が増の主な要因でありますけれども、これにつきましては昨年度総合行政情報システム費で予算計上しておりましたが、本年度よりこちらの科目で予算計上することとしたため、増となっているところであります。地方公共団体システム機構へ支出するもので、全額国からの補助金が財源となっているところであります。この目の説明は以上であります。

以上で2款の説明を終わらせていただきます。

次に、3款の説明をいたしますので、97ページをお開きください。3款1項1目社会福祉総務費、このうち住民課関係分でご説明いたしますが、住民課分の予算総額は1,748万7,000円、前年比90万5,000円の減となっております。19節負担金、補助及び交付金の中ほど、防犯灯設置費補助金121万4,000円、前年比5万8,000円の減となっております。本年度は、4自治区に対し、新規1基、更新35基分を予算計上したところであります。この補助率については、現行どおり8割となっているところであります。次のページをお開きください。28節繰出金、国民健康保険特別会計繰出

金1,384万6,000円ありますが、これは国保会計で詳しくご説明いたしますが、概要の説明をさせていただきます。内訳は、事務費454万円、保険基盤安定、軽減分がありますが、374万円、同じく保険基盤安定、支援分になりますけれども、193万円、財政安定化支援事業65万4,000円、出産育児一時金140万円、短期人間ドック補助金100万円、単独事業費で58万2,000円の内訳となっているところであります。この目の説明は以上であります。

次に、103ページをお開きください。4目国民年金費、予算額1万6,000円、前年比1,000円の減であります。この目につきましては特に説明はございません。

次に、5目医療給付費、予算額803万8,000円、前年比65万4,000円の減であります。20節扶助費、重度心身障害者医療費338万4,000円ありますが、これにつきましては昨年度9月までの実績をもとに予算計上しており、前年比20万4,000円の減となっております。次のひとり親家庭等医療費46万円につきましても昨年度9月までの実績をもとに予算計上しており、前年比14万4,000円の減となつたところであります。次の乳幼児等医療費365万2,000円につきましても同じく昨年9月までの実績をもとに予算計上しておりますけれども、前年比で27万6,000円の減となっております。この目の説明は以上であります。

次に、6目後期高齢者医療費、予算額3,187万9,000円、前年比138万円の減であります。19節、療養給付費負担金2,140万8,000円ありますが、前年比33万9,000円の減となっております。これにつきましては、後期高齢者への給付見込み額の2分の1を一般会計で負担するもので、後期高齢者特別会計へ繰り出さず、広域連合へ直接負担するものであります。次の28節、後期高齢者医療特別会計繰出金1,047万1,000円ありますが、前年比104万1,000円の減となっております。内訳は、事務費30万4,000円、健診事業分44万5,000円、後期高齢者医療広域連合事務費分150万4,000円、保険基盤安定分821万8,000円の内訳となっているところであります。

以上で3款の説明を終わらせていただきます。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。

事項別明細書81ページ、82ページの質疑を受けます。81ページ、82ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 85ページ、86ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 87ページ、88ページです。交通安全のところでございます。質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 89ページ、90ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 91ページ、92ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 97ページ、98ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 99ページ、100ページです。質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 103ページ、104ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 2款、3款全般について質疑を受けます。全般について質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) これで2款、3款の質疑を終わらせていただきます。

それでは次に、4款衛生費の説明をお願いいたします。

住民課長。

○住民課長(竹谷浩昌君) それでは、衛生費関係の説明をさせていただきます。111ページお聞きいただきたいと思います。4款1項4目診療所費、このうち住民課関係分についてご説明いたします。住民課分の予算総額は77万4,000円、前年比9,000円の増となっております。この科目で患者輸送車、いわゆる住民バスの経費を予算計上しております。この目の説明は特にございませので、以上であります。

次に、5目の説明をいたしますので、115ページをお聞きください。5目環境衛生費、予算額873万1,000円、前年比115万5,000円の増であります。11節需用費、次のページをお願いいたします。一番上の特別修繕料126万7,000円ですが、これにつきましては葬斎場火葬炉の点検におきまして動力盤及び操作盤の電気部品の接点不良などがございました。そのため、リレー灯マグネットスイッチを全て交換することとしたものです。次に、18節備品購入費、機械器具費12万8,000円ですが、町長の施政方針でも述べておりますけれども、カメムシ等の害虫駆除の薬剤散布を行う町民の皆さんへ貸し出し用といたしましてタンク容量の大きい50リットルの動力噴霧器、これを1台購入し、町民の皆さんへ貸し出しするため購入するものでございます。次に、19節負担金、補助及び交付金の一番下段になりますが、害虫駆除薬剤購入事業補助金で37万8,000円、前年比28万8,000円の増となっております。これにつきましては、昨年度まで個人に対し購入費の2分の1以内、上限額3万円として助成を行ってまいりましたけれども、自治区からの要望も踏まえまして、本年度より自治区が主体となり害虫駆除を行う場合に限り、購入経費の5分の4以内、80%の補助として自治区へ助成することを要綱に追加いたしましたので、大きく増となったところでございます。

次に、2項1目塵芥処理費、予算額3,085万1,000円、前年比20万6,000

0円の増であります。11節需用費の一番下段、特別修繕料で304万4,000円ありますが、焼却炉の採熱バーナーと助熱バーナー、これらの取りかえで143万6,400円、ガス化室耐火レンガ修繕で104万7,600円、処分場浸水液処理施設の原水槽砂ろ過原水ポンプ取りかえ、2基の分の1基でございますが、55万9,400円の内訳となっております。焼却場につきましては、平成19年から供用開始しておりますけれども、毎年部分的に修繕を行っております、焼却を止めないために部分修理で対応しているところでございます。このページの説明は以上であります。次のページをお開きください。19節負担金、補助及び交付金、ゴミ集積所設置費助成金42万円でありますけれども、本年度より1件当たりの上限額を18万円から21万円に改定し、助成することとし、要望のございました自治区の2基分を本年度予算計上したところでございます。

次に、2目し尿処理費、予算額430万6,000円、前年比99万8,000円の減であります。19節、北空知衛生センター組合負担金184万4,000円ありますが、この負担金の算出につきましては前年度の10月から9月、27年の10月から28年の9月までのし尿収集実績によりまして、その負担率で算定しているところであります。本年度につきましては3.3%となったところでございます。この目の説明は以上であります。

以上で4款の説明を終わらせていただきます。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりましたが、一旦休憩させていただきます。

休憩 午前11時12分

再開 午前11時12分

○委員長（齋藤雅文君） それでは、休憩を閉じまして質疑を行います。

事項別明細書115ページから質疑を受けます。115ページ、116ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 117ページ、118ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 119ページ、120ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 4款全般について質疑を受けます。質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） これで4款の質疑を終わらせていただきます。

次に、8款土木費の説明をお願いいたします。

住民課長。

○住民課長（竹谷浩昌君） それでは、145ページをお開きください。8款4項1目住

宅管理費、この住宅管理費につきましても住民課以外の予算も含まれておりますので、住民課分についてご説明申し上げます。住民課分の予算総額は1,076万9,000円、前年比828万1,000円の減となっております。これは、工事請負費の皆減が主な要因でございます。11節需用費の一番下段の特別修繕料253万8,000円ですが、公営住宅の屋根塗装、みずほ団地で2棟4戸、59万4,000円、幌加内団地で3棟6戸、86万4,000円、緑ヶ丘団地で5棟10戸、108万円の内訳となっております。この目の説明は以上であります。

次のページをお開きください。2目住宅建設費、予算額2,906万7,000円、前年比2,665万9,000円の増であります。15節工事請負費、公営住宅緑ヶ丘団地解体工事2,607万2,000円ですが、建て替え等によりまして空き家となりました昭和43年から45年建設の11棟22戸を本年度取り壊すものであります。添牛内団地解体工事298万1,000円ですが、これも空き家となっております昭和49年建設の1棟2戸を本年度取り壊すものでございます。

以上で8款の説明を終わらせていただきます。よろしく願いいたします。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。

事項別明細書145ページ、146ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 147ページ、148ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 8款全般について質疑を受けます。質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） これで8款の質疑を終わらせていただきます。

これをもちまして住民課所管の質疑を終わらせていただきます。

暫時休憩いたします。

休憩 午前11時18分

再開 午前11時20分

○委員長（齋藤雅文君） それでは、休憩を閉じまして審査を続けます。

これから建設課所管、8款土木費、11款災害復旧費を一括して審査を行います。

説明を願います。

建設課長。

○建設課長（小野田倫久君） 建設課の8款から説明させていただきます。

8款1項1目土木総務費、予算額149万5,000円、前年比で7万2,000円の増となっております。この目については特に説明はございません。

次に、2項1目道路橋梁維持費、予算額2億2,252万2,000円、前年比2,5

22万5,000円の増でございます。11節需用費の関係で次のページをお開きください。143、144ページになります。ここで修繕料として1,788万円の計上でございますが、内訳としましては建設機械等の修繕で605万9,000円、スノーポールの修繕等で89万7,000円、自治区要望等の維持関係で1,000万円、除雪センター屋根の塗装237万9,000円でございます。その次、特別修繕費でございますけれども、125万3,000円、この内訳としましては消防庁舎の横、側溝改修でU3トラフ82メートルを施工する内容になっております。次に、13節委託料でございますけれども、町道の除雪業務委託料9,820万3,000円でございます。この内訳としましては、基礎集落圏分の委託料で政和、添牛内、母子里合わせて600万3,000円、業者委託料の分で9,220万円を計上させていただいております。業者委託につきましては、委託料算出のため、今回より町道除雪業務積算基準を定めて経費の算出を行っております。除雪作業の工種ごとに使用する機種について標準使用車を定めて積算の公平な算出を実施しております。次に、農道管理業務委託料でございます。400万円の計上でございますが、例年農道の管理業務として300万円を土地改良区に委託しております。また、今年度は老朽化が進む農道のために補修予備費として100万円を追加して計上しているところでございます。次に、18節の除雪機械購入費でございます。4,553万8,000円の計上でございます。政和地区の基礎集落圏で使用しておりますドーザーの入れかえのための備品購入でございます。13トン級のドーザーで2,921万1,000円、ロータリー除雪装置1,632万6,000円を計上しております。

次の2目道路新設改良費でございます。予算額8,878万5,000円、前年比で346万5,000円の減になっております。次のページから説明させていただきます。145、146ページです。13節で橋梁補修設計業務委託料500万円、橋梁点検業務委託料で1,550万円の計上でございますが、橋梁長寿命化修繕計画に基づき実施するもので、設計業務を2橋分、点検業務34橋分の予算を計上させていただいております。次に、15節工事請負費でございます。四丁目線側溝改修工事900万円の計上ですが、これは駐在所と保育園の間の通りとなりますが、Uの24顎つきトラフの延長104メートルの施工を計上しております。次に、橋梁補修工事4,400万円の計上でございますが、これは新東六線橋の補修工事、東十二線橋の補修の分を計上させていただいております。これは、先ほど橋梁点検で行われております点検で不備が見つかった橋についての工事ということになります。次に、雨煙内線側溝改修工事です。745万2,000円の計上でございます。これは、大通1丁目になる、大野さん、鈴木さんの前の通りの側溝改修の件でございます。Uの24顎付きトラフ70メートルの施工になっております。次に、弥運内零号線側溝改修工事です。532万5,000円の計上ですが、これは伊藤さんの地先の前の通りになります。Uの30トラフ、延長で236メートルの施工となっております。この目につきましては以上です。

次に、3項1目河川改修費でございます。予算額1,293万8,000円、前年比で

997万6,000円の減でございます。15節工事請負費、元川河川整備工事700万円の計上でございますけれども、河道に堆積しております土砂の除去、場所的には町道北六号と北七号の間を流れている元川になりますけれども、延長が550メートルの施工になります。次に、中島の沢川の堆積土砂除去工事です。222万5,000円の計上でございますが、これは上幌加内の北側、新雨煙別橋を越してすぐ左手の側にある川でございますけれども、そこの土砂の除去工事ということで、延長750メートルの予定をしております。ここは以上でございます。

4項1目住宅管理費でございますけれども、建設課関係分の説明をしますので、次のページをお開きください。19節負担金、補助及び交付金でございます。住宅リフォームの補助金になりますが、150万円の計上になっております。これについては、5件分相当の予算を計上させていただいております。次に、持ち家建設促進奨励金850万円の計上ですが、これは北方型住宅、一般住宅、それぞれ1件ずつで2件分を予算計上させていただいております。ここは以上でございます。

次に、5項1目簡易水道費でございます。予算額が5,071万5,000円、前年比で378万2,000円の増となっております。28節の簡易水道事業特別会計の繰出金5,071万5,000円でございますが、内訳につきましては繰り出し基準内分の金額が2,287万5,000円、繰り出し基準外分の金額が2,784万円、これが内訳となっております。ここは以上でございます。

次に、2目飲料水対策費で予算額90万円、前年比で1,091万5,000円の減でございます。19節負担金、補助及び交付金で飲料水施設の改修補助金でございます。90万円の計上でございます。ここは前年度同額の計上となっておりますが、この目の大きく減額になっている部分は昨年長留内雑用水組合統合のためのメーター器の設置工事を行っていたためということになります。以上でございます。

次に、6項1目下水道費、予算額3,970万5,000円、前年比で178万1,000円の増でございます。28節、下水道事業特別会計の繰出金で3,970万5,000円でございますが、これの内訳としましては繰り出し基準内分が2,783万9,000円、繰り出し基準外分、これが1,186万6,000円の内訳となっているところでございます。

以上で8款の説明を終わります。

次に、11款の災害復旧費の説明をします。179ページ、180ページのほうをお開きいただきたいと思います。11款1項1目河川道路災害復旧費、予算額1万6,000円、前年比で724万6,000円の減額でございます。これにつきましては、昨年早雲内川の河川災害復旧工事があったために、今回大きな減額となっております。

以上で説明を終わります。ご審議の程よろしくお願いいたします。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。

8款土木費と11款災害復旧費のほうを質疑いたします。141ページ、142ページ、

質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 143ページ、144ページ、質疑ありませんか。

市村委員。

○4番(市村裕一君) 除雪機の更新についてお聞きいたします。

先ほど説明で除雪機の購入ということで、政和地区の機械を購入されるということで4,500万以上になるのですけれども、古いやつとの入れ替えということでよろしいかと思うのですが、古い機械についてどのような処理を考えているのか聞かせてください。

○委員長(齋藤雅文君) 建設課長。

○建設課長(小野田倫久君) お答えします。

今回入れ替える除雪機械、ドーザーとそれに付いているロータリー機械なのですが、これにつきましては一度役場庁内で、ほかに使用が望まれるようなところがあるかどうかの確認をとった上で、そのときにもしなければ、一般に公募して競売させていただくという形になります。15年たっている機械なので、結構今後お金もかかってくる機械なのですが、使っていただける方がいたら、入札とし、入札に参加していただいて落としてという形になるかと思えます。

以上です。

○委員長(齋藤雅文君) 市村委員。

○4番(市村裕一君) 従来も町の除雪機械はかなり民間に払い下げになったというふうにしております。もともとは、3年前ぐらいまでですか、道を経由して古いものは戻すと、ここ二、三年は町独自で払い下げしてもよろしいですと一つの説明を受けたのですが、今までの傾向を見ているとどうしても1社に町の機械が流れている傾向に見えますので、その辺をさっきも町道委託路線の経費をきちっと細目にした様に聞きましたので、その辺のこともルールに乗っかってきちっとできるのかどうか、もし考えあれば聞かせてください。

○委員長(齋藤雅文君) 建設課長。

○建設課長(小野田倫久君) お答えいたします。

除雪機械につきましては、ここ数年役場で別の部署で使うという形で外に出していなかった部分がございますけれども、基本的には公売するという事で公平性をきちんと保っていきたいと考えておりますので、1社だけにとか、そういうことにならないように、例えば欲しいところが何社か出れば、公売の中で競争していただいて、その中で落としていただくという、そういう考え方に立ちたいというふうに考えております。よろしく願いいたします。

○委員長(齋藤雅文君) ほかに143ページ、144ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 145ページ、146ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 147ページ、148ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 179ページ、180ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 8款、11款全般について質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 8款、11款に関する質疑を終わらせていただきます。

以上をもちまして建設課所管の質疑を終わらせていただきます。

暫時休憩いたします。

休憩 午前11時38分

再開 午後 0時55分

○委員長(齋藤雅文君) 休憩を閉じまして午後の審査を続けます。

これから産業課所管、2款総務費、5款労働費、6款農林水産業費、7款商工費を一括して審査を行います。

説明をお願いします。

産業課長。

○産業課長(村上雅之君) 産業課所管の予算についてご説明させていただきます。

81ページ、82ページをお開きください。財産管理費になりますけれども、このうち産業課所管分は総額で321万5,000円となります。燃料費等については特に説明はございません。18節備品購入費で本課所管のアベニールを本年度入れ替えたく予算を計上させていただいております。次のページ、83ページ、84ページをごらんください。公課費ということで、それに伴います自動車重量税を見込んでおります。

続きまして、そのページの下、9目町有林造成費であります。このページについては特に説明するものではありません。もう一ページおめくりください。85ページ、86ページになります。役務費のところ、森林保険料17万7,000円ですが、これにつきましては総額13.3ヘクタール分の森林保険料を見込んでおります。13節の委託料につきましては、保育事業委託料ということで今年度補助分として9.48ヘクタール分、17万7,000円を見込んでおります。その他町単独としまして次年度以降に向けた保育事業に向けた調査等を含め約100万円を見込んで、総額で277万6,000円を見ております。

2款につきましては以上です。

続きまして、5款、121ページ、122ページをお開きください。労働費ですが、この項目につきましては特に説明するものはございません。

続きまして、6款の農林水産業費になります。123ページ、124ページをお開きください。1目農業委員会費ですが、ここにつきましては本年の7月に農業委員の改選がございます。それに伴いまして報酬等若干の変更がありますけれども、これにつきましては次の委員が決まった場合に補正で対応させていただくということで、ここにつきましては変更はしておりません。農業委員会費については以上でございます。

次に、2目農業総務費であります。ここでは9節の普通旅費、ここで道外の出張分を1件分ということで、東京への陳情等を含め、旅費を10万円ほど例年より多く見込んでおります。

次のページめくっていただきまして125ページ、126ページ、農業振興費であります。ここにつきましては例年どおりでありますので、特に説明はございませんが、19節負担金、補助及び交付金の欄で農業振興奨励補助金3,000万円を見ております。例年2,400万円に対しまして、昨年から行いました畑作の輪作補助金、これの実績がかなり多いことから、本年度につきましては600万円増加させ、3,000万円の当初予算を組んでおります。

次のページをお開きください。地力維持増進施設運営費、この項目につきましては13節委託料で2段目にありますパーク作業委託料ということで347万6,000円になっておりますが、この部分につきましては29年度より現在町で直接臨時雇用しておりますその部分を業者委託に回したいということで、委託料に組みさせていただいております。本年度も約600トンを生産する予定での原材料費等の予算を計上させていただいております。

続きまして、次のページお開きください。農業技術センター費であります。7節から13節までは特に説明はございません。15節の工事請負費で農業技術センター屋上防水改修工事、これにつきましては今年度新規ということで屋上の防水工事を見込んでおります。それ以下、備品購入費から公課費については特に説明はございません。

続きまして、7目農業担い手対策費、ここにつきましても例年どおりですので、特に説明はありません。

その次の経営所得安定対策費、この部分につきましても例年と特に変わっておりませんので、説明はありません。

もう一枚めくっていただきまして131、132ページ、畜産費であります。この部分につきましても例年と特に変わりはございません。

10目農業金融対策費、この項目につきましては1節、9節については特に説明ありません。19節負担金、補助及び交付金で農業振興資金の利子補給補助金ですが、本年度につきましては37件残がありまして、50万2,000円を見ております。

続きまして、農業活性化センター運営費、131、132ページですが、この部分につきましては委託料の床清掃業務委託料、それからガラス清掃業務委託料、この部分が隔年実施ということですので、平成29年度は実施年となることから、その分の予算を計上しております。めくっていただきまして133、134ページ、備品購入費で29年度につ

きましては機械器具費で287万円の計上です。これにつきましては、平成の建てた当初から使っております餅つき器、それとガスの蒸し器、これがかなり老朽化、劣化しているということで、29年度は新しいものを導入したいということで更新の予算を見ております。同じく備品購入で6万7,000円ですけれども、これにつきましては現在かなり刃が傷んできております包丁等の更新を考えております。

12目土地改良施設維持管理費については、特に説明することはございません。

13目土地改良事業費ですが、これにつきましては昨年度までは幌加内北部地区というのがありましたけれども、28年度で事業が完了しましたので、本年度については北部地区が抜けております。そのほか中部地区、東部地区、西部地区につきましては、本年度も継続して行うということで予算を計上させていただいております。

次に、林業費ですけれども、この部分につきましては昨年まで林業の費用弁償等、非常勤職員の分を見ておりませんでしたので、今年度につきましては費用弁償分約3万円を増額した形で予算計上させていただいております。それから、めくっていただきまして135、136ページになりますが、13節の委託料、森林情報管理システム管理業務委託料ということで88万6,000円を計上させていただいております。これにつきましては、森林台帳管理ということが義務付けられておりますけれども、本町におきましては現在農業委員会のところに設置しております土地台帳システム、これと林務の今回導入いたします台帳管理が一括管理できるということで、本町は独自でこのシステムを導入するという形での計上をさせていただいております。次の負担金、補助及び交付金ですが、3段目にあります未来につなぐ森づくり推進事業補助金、これにつきましては28年度で実施できなかった部分を29年度でこれについては実施したいということで再度予算を計上させていただいております。

次に、水産業費、水産業振興費ですが、15節工事請負費で朱鞠内湖遊漁管理・休憩棟の改修工事459万円ですが、これについては施設の老朽化に伴う改修工事ということで予定しております。19節負担金、補助及び交付金ですが、2段目にあります幌加内町水産業振興奨励補助金、前回産業建設常任委員会でもご説明させていただきましたけれども、29年度よりこの奨励補助金制度を新たにつくりまして、これにおいて今までのふ化事業等、いろんな事業展開を図りたいということで予算を計上させていただいております。

めくっていただきまして、商工費になります。1目の商工振興費については、特に説明することはございません。例年どおりプレミアム商品券等については例年どおりの予算計上をしております。商工業振興奨励補助金の500万円につきましては、特に今のところ申請は上がってきておりませんが、1件分500万円ということでの当初の予算計上となっております。

次に、2目観光費、報償費のところでは物産品宣伝費ということで100万円を見ておりますが、これにつきましては昨年度発足いたしました土別市、和寒町、剣淵町、幌加内町で1市3町の着地型観光推進協議会というものが設立されました。それに伴うもの、いろ

んな各地域に出向いていったの宣伝ですとか、受け入れ態勢、そういうものに対する物産宣伝費ということで100万円を計上させていただいております。おめぐりください。次のページ、委託料のところ、4段目にあります百年記念公園管理業務委託料ということで835万6,000円となっております。この部分につきましては、28年度までは町の臨時として2名の雇用を行い、百年記念公園のパークゴルフ場の管理を行ってまいりましたが、これにつきましては29年度からは民間委託とすることで、今回予算を計上させていただいております。15節工事請負費ですが、町民保養センター車庫の改修工事、これにつきましては昨年度まで結構外壁に穴があいていたりとか、そういうものについて今年度で修理をしたいと考えております。それから、次の町民保養センター周辺施設の塗装工事から朱鞠内湖周辺観光施設の塗装工事、同じく母子里クリスタルパークの管理棟の塗装工事、これにつきましては木材でできている部分が経年劣化によりかなりぼろぼろになってきているということで、3つの塗装工事を行いたいと考えております。続きまして、備品購入費で観光一般備品購入費ということで103万7,000円となっておりますけれども、これにつきましては朱鞠内湖キャンプ場で利用しております。ここに乗用型の芝刈り機を1台導入したいということで備品を計上させていただいております。負担金、補助及び交付金につきましては、特に説明するものはございません。

次に、まどか運営費、ここで11節で特別修繕料ということで60万5,000円を計上させていただいておりますが、この部分につきましてはまどかの裏にあります車庫、それから屋外の浄化槽、これの屋根等が相当傷んできているということで、今回その修繕を見させていただいております。

産業関係については以上でございます。よろしくお願いいたします。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。

事項別明細書81ページに戻ってください。81ページ、82ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 83ページ、84ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 85ページ、86ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 121ページ、122ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 123ページ、124ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 125ページ、126ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 127ページ、128ページ、質疑ありませんか。

小関委員。

○5番（小関和明君） 128ページの地力増進施設運営費、委託料、パークの作業委託ということで予算が計上されています。昨年までは作業員が1人だったと思います。それをあえて業務委託するような状況になったのはどういうことでこの予算計上になっているか、説明をお願いいたします。

○委員長（齋藤雅文君） 産業課長。

○産業課長（村上雅之君） 町の臨時の規定では、年齢を一応65歳ということで結構縛りを設けております。現在雇用しております阿部さんにつきましては年齢が66歳ということになりますので、そういうことも踏まえまして町のほうでは直接雇用は止めたいということで民間に出すということです。

○委員長（齋藤雅文君） 小関委員。

○5番（小関和明君） 年齢で外部委託をするというようなご説明ですけれども、この作業においてはそれなりに技術が要るのではないかと想像しています。パークについても地力増進維持ということで必要性があつてのことだと思いますが、年齢でいうと過去のいろんな職員の事例からいっても決して年齢を上げて支障のない状況がもしかしてあるのではないかと想像はするのですが、なぜそこで年齢にこだわって、なおかつ外部委託をせざるを得ない。また、外部委託するだけの事業者が現状あるのかどうか、そこら辺確認も含めて説明願います。

○委員長（齋藤雅文君） 産業課長。

○産業課長（村上雅之君） 今小関委員のご指摘のとおり、年齢的に特に支障はないのではないということもありますけれども、町のほうはなるべく規則に沿った形で、年齢制限を設けておりますので、よほどの事情がない限りはそれは遵守したいということで考えております。現在行っていただいております方につきましても、もう経験年数が相当年数きておきまして、そろそろ次の後継者に渡していただかなければ、町としてもこのパーク堆肥の製造につきましてもまだまだ続けていくという方針ですので、それについては当然後継者等の育成も踏まえて、できれば業者へお願いしたい。それと、もう一つは、町で臨時の募集をかけてもなかなか来手がないという現状もありますので、そういうことも踏まえまして、できれば民間のほうの業者委託に回したいということもありまして、そういう形をとらせていただきました。

○委員長（齋藤雅文君） 127ページ、128ページ、ほかに質疑ありますか。

中川委員。

○3番（中川秀雄君） 次の技術センターの関係ですけれども、7節賃金ですが、臨時雇い賃金、作業員賃金ですが、昨年と人数的には変更あるのでしょうか。

○委員長（齋藤雅文君） 産業課長。

○産業課長（村上雅之君） 当初予算では特に変更はなく、5人という形で見ております。

○委員長（齋藤雅文君） 中川委員。

○3番（中川秀雄君） 産業課所管に聞くというよりは、町長の施政方針にありました臨時雇いの賃金の関係なのですけれども、今年から俸給表も使って10年までは定期昇給もできるようにしたということで、それは大変前進的な措置であったと思いますが、昨年から見ますと、同じ5名なのですが、5万円ほど総額で増えております。町長の施政方針のほうにあった定期昇給していくという、その起点になる年が実際どうなのかという関係と、俸給表が普通の正職員と比べて、それぞれ号俸が上がっていくに従って上がっていくのだろうと思うのですけれども、昇給の仕方が同じ号俸ぐらいの正職員と比べてどのようになっていくのかという、概要でもいいですから、ご説明願いたいと思うのですけれども。

○委員長（齋藤雅文君） 町長。

○町長（細川雅弘君） お答えします。

施政方針にありましたとおり、かねてから懸案でありました臨時雇用の処遇改善ということで、今回今ご質問にありましたとおり一つの俸給表を作りまして、そこに当てはめて随時昇給をしていくと、そういった形にさせていただきました。ご案内のとおり、地方公務員法という縛りがありまして、1年を超える雇用はできないと、そういった大きな縛りがあったのですけれども、そこはあえて踏み込んでこういう形にさせていただきました。先般新聞報道で、自治法なり公務員法を改正して、公務員の中でも非正規雇用が非常に問題になっていると、そういった処遇改善をするのに臨時雇用も契約によって長期間、あるいは賞与も与えることができると、こういった法改正の動きがあるようです。ただし、これは平成31年からというふうに記憶をしております。ある意味で私どもの取り組みが少し先んじて先行した形かなというふうに思っております。今言ったどこに当てはめるかということなのですが、俸給表のベースは一般職ではなくて技能労務職という国の基準の給料表があります。それに準じた形で設定をさせていただいた。そして、どこに当てはめるかは、年齢、学歴、経験、そういったものの前歴を参酌しましてある程度ここに当てはめると、そこからスタートということにさせていただきます。技術センターの職員募集につきましては大学卒ということで、スタートは新卒ですと大体大学卒の初任給程度かと認識しているところでございます。

以上でございます。

○委員長（齋藤雅文君） 127ページ、ほかにもございませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 129ページ、130ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 131ページ、132ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 133ページ、134ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 135ページ、136ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 137ページ、138ページ、質疑ありませんか。

中川委員。

○3番(中川秀雄君) 観光費の最初の報酬関係ですけれども、先ほど産業課長からは特別説明はなかったのですが、町長の施政方針で保養センターの大規模な補修だとか、いろんなもろもろについて検討してもらおう委員会を設けたいと、多分それに基づいての設定だと思えるのですが、この後にもいろいろ大規模修理、先ほど課長から説明がありましたけれども、今年計上されている分以外にまたさらにいろんな、場合によっては補修の箇所などはこの検討委員会で検討した結果として出てくる可能性はあるのでしょうか。

○委員長(齋藤雅文君) 産業課長。

○産業課長(村上雅之君) 現在今言われたとおりに要望されている案件だけでも、露天風呂の改修ですとか、いろいろ案件は出てきております。それと、施設も平成7年オープンから相当期間が過ぎておりまして、28年度でも相当補正で修理費を組ませていただいた経緯もございます。この先まだまだルオント使っていく上ではいろいろと修理は多分出てくるのが予想されますので、機械等ですとか、そういうものももう既に相当老朽化してきて、時々運転がストップしてしまうような機械もございます。そういうものも含めまして、29年度で一応検討委員会を設置しまして検討し、順次どこまでが必要なのかということを含めて検討したいということで考えております。

○委員長(齋藤雅文君) 中川委員。

○3番(中川秀雄君) 検討委員会の構成の関係なのですけれども、どんなような方々を予定しておりまして、実際に目的とされる検討を行わせるような体制になるのかというのが心配なものですから、その辺の事情について聞かせてください。

○委員長(齋藤雅文君) 産業課長。

○産業課長(村上雅之君) 現在私どもで計画しております検討委員のメンバーですけれども、7名ほどを考えております。メンバー的には、観光協会関係、幌加内町の自治区連合会関係、政和自治区長、幌加内町老人クラブ連合会、幌加内町社会福祉協議会、これのほかに一般公募で2名程度ということでの委員会のメンバーを考えております。事務局なのですが、産業課がメインにはなりますけれども、そもそもルオントにつきましては町民保養センターという形をとっておりますので、保健福祉課につきましても事務局には入っていただくということで考えております。

○委員長(齋藤雅文君) ほかにありませんでしょうか、137、138ページです。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 139ページ、140ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 2款、5款、6款、7款、全般について質疑を受けます。質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) これでは2款、5款、6款、7款に関する質疑を終わらせていただきます。

以上をもちまして産業課所管の質疑を終わらせていただきます。ご苦労さまでした。
暫時休憩いたします。

休憩 午後 1時25分

再開 午後 1時35分

○委員長(齋藤雅文君) 休憩を閉じまして審査を続けたいと思います。

これより3款民生費、4款衛生費の審査を行います。4款衛生費については診療所予算もあることから、この場から診療所事務長の出席を認めたいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) それでは、3款民生費の説明をお願いいたします。

保健福祉課長。

○保健福祉課長(中河滋登君) それでは、保健福祉課関係、3款1項1目からご説明を申し上げます。1目社会福祉総務費、本年度7,421万9,000円、前年比98万5,000円の減でございます。1節から8節、特に申し上げることはございません。9節旅費、普通旅費でございますけれども、昨年度も参加しましたシングルペアレント移住定住情報交換会合同相談会について関西、関東方面で行われる予定となっておりますので、参加する旅費2名分25万円を当初より計上しているところでございます。11節の消耗品中でございますけれども、人権擁護関係で5年に1度道からの事業で、今回幌加内小学校6年生、朱鞠内小学校で人権の花運動啓発のため、花の苗など4万4,000円の予算を計上しているところでございます。12節、特に申し上げることはございません。13節委託料、福祉除雪委託料で386万9,000円、これは玄関、窓下の除雪31戸、屋根業者委託分21戸、個人委託10戸分を見ております。19節負担金、補助及び交付金で下から5行目になりますけれども、老人家庭等福祉灯油代助成金134万4,000円、これにつきましては対象は192世帯、各7,000円支給で計上しているところでございます。そのほかこのページで特に申し上げることはございませんので、次のページをお願いいたします。

2目老人福祉費、本年度9,357万4,000円、前年比2,428万2,000円の減でございます。1節から9節旅費まででございますけれども、特に申し上げることはございません。11節需用費中、一番下段になります。特別修繕で64万6,000円でございます。これに関しましては、朱鞠内延寿荘の食堂の床暖パネルヒーターの老朽化により室温が上がらないということでございますので、新規に冷暖房エアコンを1台設置

して修繕することで予算を計上しているところでございます。12節役務費については、特にございません。13節委託料でございますけれども、下段の生活管理指導短期宿泊業務委託料70万円でございますけれども、昨年度と同様に診療所無床化に伴い、虚弱高齢者で1週間ほど様子を見る場合などの特養の短期用居室2室を利用することで考えてございます。年間10名、1日1万円の1週間分として予算を計上し、町から事業者への支払いというふうに考えているところでございます。14節、特に申し上げることはございませんので、次のページをお願いいたします。18節備品購入費で公用車購入費186万円でございます。介護福祉車両でございますけれども、16年を経過いたしまして、距離数も20万キロを超えました。また、この車両は前輪駆動車ということもありますので、新規に排気量1,000ccの4輪駆動車、それから送迎等事業の関係がございますので、乗りおりが楽なようにスライドドアの車両を購入する予算を計上しているところでございます。19節負担金、補助及び交付金ですが、下から6段目でございますが、地域密着型特養運営補助金として970万円、この件につきましては、今年も繰り返しのようになりますが、町立病院から特養に移行する職員7名分の人件費、28年3月末時点の給与を3年間保障することで継続し、170万円、それから先ほど申し上げました特養施設での短期宿泊事業の関係に関しましては看護師、介護福祉士、介護員3名分の人件費50%を見ることとして800万円を計上しているところでございます。同じく、下から2段目、地域密着型特養居住費助成金でございますが、225万8,000円です。これに関しましては、町立病院から特養に入所した方々の負担の激変緩和として2年度目の負担割合50%ということで計上しているものでございます。そのほかにつきましては、特に申し上げることはございません。

続きまして、3目障害者福祉費で本年度5,070万8,000円、前年比111万2,000円の減でございます。このページ、例年どおりの予算を計上しておりますので、特に申し上げることはございませんので、次のページをお願いいたします。20節扶助費の上から3段目ですが、介護給付訓練等給付費で4,298万7,000円、これに関しては共同生活援助、就労移行支援などのために障害がある方の生活支援、就労支援として国50%、道25%、町25%負担ということで本町分の予算を計上しているところでございます。そのほか特に申し上げることはございませんので、ページを飛んでいただきまして次のページです。

105ページ、106ページのほうをお願いいたします。保健福祉センター管理費でございます。本年度3,290万8,000円、前年比521万3,000円の増でございます。11節需用費中、修繕料で107万1,000円でございますが、本年度も居室部分のクロスの張りかえを順次行うこととして、3室分で45万8,880円の予算がこの中に含まれてございます。そのほかにつきましては、特に申し上げることはございませんが、このページで18節の備品購入費で機械器具購入費457万2,000円の予算を計上しておりますが、居室部分の各居室等の蓄熱暖房機が開所当時より20年経過し、製品

が既に生産中止となっている。部品の在庫も限られてきてございます。今後を見据えまして、29年度から2カ年かけ暖房機の入替えを行います。29年度につきましては、1人部屋10室、1部屋当たり47万5,200円ということで予算を計上しているところでございます。そのほか特に申し上げることはございません。

2項1目児童福祉総務費、本年度1,066万5,000円、前年比452万7,000円の減でございます。1節から次のページ、12節まで特に申し上げることはございません。13節委託料で中段、地域子育て支援拠点事業運営業務委託料で37万1,000円でございますが、この関係につきましては28年度から週1回の開設体制として運営をしております。29年度につきましても同様に週1回ということで開設をしてみたいと思いますので、当分の間は親御さんたちのニーズ、それから職員確保の関係からこの体制を継続する予定でございます。そのほか、季節保育所、学童保育所は例年どおりの運営に対し業務委託料を計上しております。19節負担金、補助及び交付金で保育所衛生施設改善事業補助金で11万9,000円を計上しておりますが、この関係につきましては汚水を流す場所が保育園、双葉保育園ですが、少ない。結局は園児の共有スペースを通過して汚水を流す場所まで行かなければいけないということが実態としてございましたので、トイレ内に汚水流しを増設いたしまして感染症予防対策を講ずるために11万9,000円の交付を計上しているところでございます。そのほか特に申し上げることはございません。

2目児童扶助費、本年度4,885万4,000円、前年比371万9,000円の増でございます。20節扶助費で保育所運営費として3,589万2,000円、27年の5月から保育所に関して園児全員の保育の無償化を実施しております。本年度につきましても同様に継続していくところでございます。そのほか特に申し上げることはございません。

3項1目災害救助費でございますけれども、科目存置として予算を計上しております。

3款については以上で説明を終わらせていただきたいと思います。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。

これから質疑を行います。事項別明細書97ページから質疑を受けます。97ページ、98ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 99ページ、100ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 101ページ、102ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 103ページ、104ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 105ページ、106ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 107ページ、108ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 3款民生費全般について質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) これで3款の質疑を終わります。

それでは次に、4款衛生費に進みます。4款衛生費につきましては、平成28年度予算から診療所所管の予算も含まれております。審査につきましては、それぞれの所管ごとに説明、質疑を行いたいと思います。これについては皆様、ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 異議なしと認め、そのように取り進めることといたします。

それでは、初めに保健福祉課所管の4款衛生費の説明をお願いいたします。

保健福祉課長。

○保健福祉課長(中河滋登君) 4款1項1目保健衛生総務費でございます。本年度301万7,000円、前年比2,236万500円の減でございます。この大きな減額となっている要因につきましては、28年度につきましては当初病院がまだございましたので、国民健康保険病院会計の繰出金2,306万1,000円、これが計上されておりました分が皆減となっていることが主な要因でございます。続きまして、1節から11節までにつきましては特に申し上げることはございません。12節役務費、検査手数料で6,000円でございますが、隔年で実施いたします体重計等の検査機器検査分でございます。この部分では乳幼児に係る体重計検査分を計上しておりますが、以降検査手数料がその都度出てまいりますので、ご承知おき願いたいと思います。続きまして、13節委託料、エキノコックス症検診委託料ですが、本年度は5年に1度の一斉検診年となります。検査対象者を400人と想定いたしまして、41万1,000円を計上しているところでございます。単価につきましては消費税込みの1,026円ということで計上しております。続きまして、16節は特に申し上げることはございません。19節負担金、補助及び交付金中、下から2段目でございますけれども、妊産婦健診等交通費助成金で29万5,000円を計上しております。対象者を8名で見えております。幌加内町片道1,600円でございますので、往復3,200円の金額で、それぞれ回数を8名の方が健診等に行かれた場合のマックスで92回ということで計算した上で計上しているところでございます。そのほか特に申し上げることはございません。

2目予防費、本年度555万4,000円、前年比31万3,000円の減でございます。9節、特に申し上げることはございませんので、次のページをお願いいたします。11節需用費、13節委託料について特に申し上げることはございません。19節負担金、補助及び交付金中、下段の日本脳炎予防接種助成金10万8,000円でございますけれども、昨年度、28年度から北海道が指定解除ということになりましたので、本年度も経

過措置対象者18歳から20歳までの45名の接種率を20%として見て、9名、2回接種ということで計上しております。単価は6,000円として必要経費を計上しております。そのほかは特に申し上げることはございません。

3健康推進費、本年度479万円、前年比53万2,000円の減でございます。7節から12節役務費まで、特に申し上げることはございません。13節委託料ですが、360万8,000円を計上しております。28年度からは町立診療所のほうで人間ドック等を行わないということで、旭川市の対がん協会へ送迎バスで各種検診を実施しておりますが、本年度も継続をして実施してまいります。回数は、年間3回を予定しております。そのほかは特に申し上げることはございません。

4目診療所費でございますが、予算書上、先ほど委員長からお話がありましたとおり、幌加内診療所、政和診療所が加わっております。本年度予算額1億7,384万2,000円、前年比1億4,320万9,000円の大幅な減額となっております。朱鞠内診療所、歯科診療所に係る予算部分について説明をさせていただきますけれども、予算規模的には3,506万3,000円となり、前年度3,671万円に対しまして164万7,000円の減額となっております。要因といたしましては、医薬材料費の落ち込みが主な要因でございます。その後につきましては、事務長より幌加内及び政和診療所の予算関係の説明をいただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。このページの7節、特に申し上げることはございませんので、次のページをお願いいたします。8節、9節、10節についても特に申し上げることはございません。11節、下段の医薬材料費で5,252万円を計上されてございますけれども、診療所の関係につきましては保健福祉課担当の部分出で先ほど申した医薬品で100万円の減額となっているところでございます。続きまして、12節の役務費中、下から4段目で一般廃棄物処理手数料で3万5,000円を計上しているところでございますけれども、この関係につきましては朱鞠内診療所の酸素ボンベ1台、それからパソコン2台、これが不要な物品になりましたので、廃棄するための手数料でございます。続いて13節の委託料ですが、上から2段目、管理業務委託料1,341万1,000円でございます。この関係につきましては、歯科診療所の報酬ということでございますけれども、平成29年度より歯科医師、従前は比布町の歯科診療所を兼務しておりましたが、比布町の診療所老朽化等々の理由により、29年度より本町の歯科診療所のみ診療体系ということになります。当分の間は現行の診療体制で進みますが、歯科医師からは今後は幌加内だけになるので、診療体制につきましては診療時間、診療日について今後は見直しを検討していきたい旨のお話をいただいておりますので、お知らせいたします。そのほか特に申し上げることはございませんので、次のページをお願いいたします。18節備品購入費でございます。歯科診療所備品購入費として100万4,000円でございますけれども、防犯カメラを設置する予算を計上しております。4カ所設置ということで、玄関、会計、診察室、所長室を予定しております。その下、朱鞠内診療所備品購入費として269万5,000円でございますけれども、これにつきましては

エックス線の画像読み取り装置が老朽化したため、入れかえするための必要予算を計上しているところでございます。19節負担金、補助及び交付金、22、27節について特に申し上げることはございません。

以上、保健福祉課関係の4款予算の説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○委員長（齋藤雅文君） 保健福祉課長の説明が終わりましたので、質疑を申し受けます。事項別明細書109ページから質疑を受けます。109ページ、110ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 111ページ、112ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 113ページ、114ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 115ページ、116ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 117ページ、118ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） では、ここで診療所所管の4款衛生費の説明をお願いいたします。

診療所事務長。

○診療所事務長（蔵前裕幸君） 4款1項4目診療所費のうち、町立幌加内診療所、政和診療所に係る平成29年度予算についてご説明いたします。

111ページ、112ページをご覧ください。7節賃金1,457万5,000円のうち1,450万6,000円です。2行目の管理人賃金から臨時技術職員賃金までとなっているところでございます。次のページをお開きください。8節報償費383万円の計上ではありますが、全額両診療所の経費となっております。8節報償費で1行目、講師謝礼10万円の計上ではありますが、これは所内研修講師養成のための計上でありまして、職員の資質向上に今後も努めてまいりたいと考えているところでございます。9節旅費120万5,000円のうち111万1,000円となります。2行目、特別旅費97万円の計上でございますが、医師、看護師等の研修旅費となっております。10節交際費25万円は、全額両診療所の経費となります。11節需用費6,307万6,000円のうち5,334万4,000円となります。需用費については経常経費ですので、特に説明することはありません。12節役務費103万7,000円のうち、診療所に係る経費は64万5,000円となります。12節につきましても経常経費ですので、特に説明することはありません。13節委託料2,971万5,000円のうち、診療所に係る経費は1,397万3,000円となります。この節、下から7行目、町有地地質調査業務委託料10万

8, 000円の計上でございますが、医師住宅建設に係る地質調査の業務委託となっております。なお、調査の結果強度が足りないと結果が出た場合は、また補正予算にて関連する工事の予算を計上したいと考えておりますので、ご理解を賜りたいと思います。この節の一番下です。サーバー機器設定業務委託料16万円の計上となっております。臨床検査業務に係るサーバー機について相当な年数が経過しております。故障してからの対応では業務に支障を来し、また単に機器の入れ替えでは経費が増大するため、既存サーバーを活用することとし、予算を計上したものでございます。次のページお開きください。14節使用料及び賃借料165万9,000円のうち、診療所に係る経費は125万9,000円です。この節も経常経費ですので、特に説明する項目はございません。

17節公有財産購入費4,598万7,000円は、全額診療所の経費となります。医師住宅購入費で同額の計上でございます。医師住宅建設に対し、すぐれた企画力、技術力などの総合力を備えた民間企業の創意工夫を導入し、公民のパートナーシップのもと、良質な医師住宅の供給とスムーズな転居を可能とするため、工期の短縮を図ることを目的とし、公有財産購入費として予算計上させていただきました。事業規模といたしましては、医師住宅1棟1戸、200㎡程度、車庫、物置はビルトイン、諸設備の関係も含めた予算計上となっておりますのでございます。また、本事業は公募型プロポーザル事業として進め、予算成立後に募集要項等を公表して事業者を募集し、参加事業者選定を4月中旬、事業者からの提案書を5月末に締め切り、6月上旬には優先交渉権者を決定して、買い取り協定締結後工事着手、11月下旬には買い取り契約を締結、建物の引き渡しを受け、12月初旬には入居が可能となるよう進めてまいりますので、ご理解を賜りたいと思います。

18節備品購入費547万6,000円のうち、下から2行目、幌加内診療所備品購入費107万7,000円の計上でございます。図書購入費70万円、合わせて177万7,000円となっております。診療所備品購入費2点ございまして、まず休日等の日中及び夜間、平日の夜間も含めですが、職員が不在となります。万が一の対策と予防のため、防犯カメラの設置購入費として100万4,000円、それと待合ホールには現在長いすを用意はしておりますけれども、体調が少し悪く、横になりたいという方がちょっと見受けられますので、そういう方のためのチェアベッド1脚分を予算計上させていただいたところでございます。19節負担金、補助及び交付金679万1,000円のうち117万8,000円となっております。下から3行目、医師勤務環境改善交付金50万円の計上でございますけれども、帰省による1回当たりの上限を10万円として5回分で予算計上させていただいておりますので、ご理解を賜りたいと思います。22節補償、補填及び賠償金10万円の計上でございますけれども、全額診療所の経費となっております。病院事業会計は平成28年度で閉鎖することとなりますが、病院収益に係る過年度査定等、いわゆる返戻金が発生した点に対応する予算を計上させていただいたものでございます。過去2カ年にわたり請求されることから、仮に予算をオーバーした場合は補正予算にて対応したいと考えておりますので、ご理解をいただきたいと思います。27節公課費14万1,000

0円のうち、診療所に係る経費は4万6,000円となっております。自動車重量税4万6,000円の計上となっておりますが、説明は特にありません。

以上、4目1億7,384万2,000円のうち、診療所に係る経費は1億3,800万5,000円となります。

収支状況について若干ご説明をさせていただきたいと思います。診療所予算1億3,800万5,000円のうち、経常的経費が9,078万1,000円、投資的経費が4,722万4,000円となっています。

ここで歳入の説明をさせていただきたいと思いますので、12款使用料及び手数料、34ページ、35ページをお開きいただきたいと思います。12款1項3目衛生使用料のうち、幌加内診療所使用料8,500万円、政和診療所使用料275万4,000円を計上させていただきました。これは、診療報酬及び個人からの一部負担金となっています。

次のページ、36ページ、37ページをお開きいただきたいと思います。2項2目衛生手数料のうち、幌加内診療所手数料690万円、政和診療所手数料5万円の計上でございます。ここは、健康診断料、文書証明料等の問題を計上させていただいております。

そうしまして、両診療所に係る収入額の合計は9,470万4,000円となります。経常経費から見る収支といたしましては、390万円余りの黒字ということで29年度予算計上させていただいているところでございます。

以上で両診療所の説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願いたします。

○委員長（齋藤雅文君） 診療所の説明が終わりました。

事項別明細書111ページ、112ページについて質疑を受けます。質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 113ページ、114ページ、質疑を受けます。質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 115ページ、116ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 4款全般について質疑ありませんか。保健福祉課、診療所所管全て入ります。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 以上で保健福祉課、診療所所管の質疑を終了いたします。暫時休憩いたします。

休憩 午後 2時12分

再開 午後 2時14分

○委員長（齋藤雅文君） 休憩を閉じまして審査を続けます。

10款教育費の説明を願います。

教育次長。

○教育次長（清原吉典君） 予算書151ページ、152ページをお開きください。10款1項1目教育委員会費、本年度190万2,000円、前年同額でございます。この目については特に説明はございません。

次に、2目事務局費、本年度117万3,000円、前年対比10万3,000円の増でございます。11節需用費、印刷費でございますけれども、小中学校の健康カードの印刷が必要なため、前年対比6万4,000円が増となっております。この目については以上です。

次に、3目教育振興費でございます。本年度1,441万7,000円、前年対比223万2,000円の増でございます。次のページをお願いいたします。13節の委託料、英語指導助手派遣事業委託料でございます。英語指導助手教育の充実を図ることとしておりまして、現在の週3日から5日にするというところでございますので、前年対比で189万4,000円の増となります。次に、19節負担金、補助及び交付金、下から4つ目でございます。高等学校生徒下宿等の補助金360万円でございます。昨年から引き続き実施することとして30名分の予算を計上しております。次に、20節扶助費、就学援助費でございますけれども、継続10名、新規5名分を見込みまして、学用品費では前年対比287万円の増、給食費では13万9,000円の増となっております。この目については以上です。次に、4目学校営繕費、本年度728万9,000円、前年対比193万2,000円でございます。11節の需用費、特別修繕料の内訳ですけれども、朱鞠内小学校の外灯が雪で傾いておりますので、撤去費用に64万8,000円、朱鞠内小学校の音楽室のカーペット、一部剥がれておりますので、その張り替え費用に65万9,000円、同じく幌加内中学校の音楽室のカーペットについても張り替え費用に129万6,000円でございます。幌加内中学校の教員住宅の屋根板金改修に98万6,000円を予算計上しております。この目については以上です。

次に、2項1目学校管理費、本年度7,869万円、前年対比2,326万円でございます。次のページをお願いいたします。13節の委託料、下から3段目でございます。母子里地区の通学児童送迎業務委託料ですけれども、中学生の送迎が増えますので、前年対比で32万4,000円の増額となります。次に、15節工事請負費です。幌加内小学校の校舎外壁塗装工事1,991万6,000円でございます。昭和58年7月の建設以来33年経過しておりまして、ひび割れ等がございますので、本年度実施するものでございます。幌加内小学校の玄関ポーチ等改修工事845万7,000円でございます。正面玄関と給食運搬の入り口、校舎裏ポーチのタイルが剥がれておりますので、補修いたします。歩く場所につきましては、主にゴムチップ舗装とし、ほかはタイルの補修をするものでございます。次に、幌加内小学校の煙突改修工事1,221万5,000円でございます。校舎暖房用ボイラー煙突のアスベストを含む断熱材の撤去費用と新たに煙突を新設する工

事でございます。朱鞠内小学校の階段室内装改修工事254万9,000円でございます。階段室の壁紙の補修を行うこととしております。次に、18節備品購入費、一般備品購入費の内訳ですけれども、幌加内小学校についてはスチーム式加湿器3台、温湿度計9台、掃除機4台を購入する費用として23万6,000円、朱鞠内小学校については放送用ミキサー、除雪機の更新費用に94万7,000円を計上しております。また、幌加内小学校についてですけれども、本年度2、3年生が複式学級になる予定でございますので、黒板、パーティションの購入費用に21万円を計上しております。19節負担金、補助及び交付金、次のページをお願いいたします。朱鞠内小学校の開校100周年記念事業の補助金50万円ですけれども、記念式典が10月1日に予定されておりますので、この補助金としまして予算を計上しております。この目については以上です。

次に、2目教育振興費、本年度126万4,000円、前年対比103万9,000円のマイナスでございます。この目については特に説明はございません。

次に、3項1目学校管理費、本年度3,747万3,000円、前年対比1,144万3,000円のマイナスでございます。次のページをお願いいたします。15節工事請負費で幌加内中学校の給水設備改修工事1,333万8,000円ですけれども、給水管の老朽が激しいため、水道管の改修を実施いたします。18節備品購入費、一般備品購入費ですけれども、体育館用のホワイトボード、体育館の照明調整機器の購入費用として44万8,000円を計上しております。この目については以上です。

次に、2目教育振興費、本年度143万4,000円、前年対比119万円のマイナスでございます。18節備品購入費で義務教育教材購入費ですけれども、音楽楽器のトロンボーン、ドラムセットの更新費用として54万4,000円を追加で計上しております。この目については以上です。

次に、4項1目高等学校総務費、次のページをお願いいたします。11節の需用費、特別修繕料の67万円でございますけれども、高校の温室棟において液肥散布の際に水たまりができるため、衛生上問題があるということでございますので、排水対策を実施する費用を計上しております。13節委託料、電話システム更新業務委託料167万4,000円ですけれども、校舎内の電話機に不具合があり、通話に支障が出るときがありますので、更新費用を計上しております。15節工事請負費、幌加内高等学校のそば加工室給湯設備改修工事81万5,000円ですけれども、校舎内のそば加工室の給水が漏水のためさびが出ております。その給水設備改修費用として計上しております。19節負担金、補助及び交付金、上川北部高等学校広域連携事業負担金10万円ですけれども、音威子府村、下川町、剣淵町、幌加内町の4町村が連携しまして高等学校のPR事業として札幌市において学校紹介、説明会を実施する負担金としまして予算を計上しております。この目については以上です。

次に、2目教育振興費、本年度1,835万3,000円、前年対比345万7,000円の増でございます。8節の報償費、次のページをお願いいたします。スクールソーシャ

ルワーカー報償金86万4,000円ですけれども、生徒が学校生活で直面する悩みと教育相談に対応するため、精神保健福祉士の資格を持った方、また大学教授の方など旭川在住の方2名を委嘱しまして、年間48回分を引き続き予算計上しております。13節委託料、デジタルマーケティングの人材育成委託料40万円ですけれども、本年度においても高校で生産された農産物、加工品などネット販売を行うため、ショッピングサイトの構築費用として計上しております。15節工事請負費、ICT教育教室等設備整備工事354万3,000円です。関連がありますので、19節負担金、補助及び交付金、ICT教育振興補助金393万1,000円ですけれども、まず工事費については7教室に高速通信設備の整備、5教室にホワイトボード、プロジェクター等の機器を整備する費用として計上しております。19節のICT補助金ですけれども、アイパッド1台、4万7,520円の見積もりでございます。生徒用65台、先生用5台の合計70台分の購入費用332万7,000円、教育支援ソフトウェア生徒用の65台分、60万4,000円を購入することとして予算計上しております。18節備品購入費、教材備品購入費の内訳ですけれども、商店会やそば祭り等に使用するガス用のフライヤー1台、電子レジスター1台購入に22万7,000円、肉加工用のひき肉製造機1台、腸詰め機器1台、食品中心温度計1台購入に11万1,000円、製菓用の攪拌機1台購入に11万2,000円、BS番組を教材使用するために視聴用にアンテナ1台、録画再生機器1台購入に18万8,000円、学校PR撮影用にデジタルカメラ1台購入に7万2,000円、焼土殺菌機へ土を投入する際に使用するためベルトコンベヤー1台購入に44万4,000円を計上しております。この目については以上です。

次に、3目寄宿舎費、本年度4,269万5,000円、前年対比4,497万5,000円のマイナスでございます。8節報償費、カウンセリングアドバイザー報償金27万円ですけれども、寄宿舎や学校内での生徒の悩みに対し助言や指導を行うため、旭川在住の診療心理士など専門的な知識のある方を委嘱し、年15回分を予算計上しております。次のページをお願いいたします。13節委託料、調理業務委託料ですけれども、引き続き株式会社魚国総本社に朝夕食の調理を委託することとして計上しております。委託料の内訳ですけれども、月額77万7,600円の12カ月分で年間933万円、これが人件費と管理費との基本額でございます。あと、歳入としましては寄宿舎の使用料を充当することとしております。そのほか食材賄い代として1食324円の食数分としまして年間1,142万8,000円を支出いたします。こちらについては、歳入については寄宿舎の賄い費収入を充当することとしております。この目については以上です。

次に、5項1目学校給食費、本年度3,890万3,000円、前年対比574万6,000円の増でございます。11節の需用費、給食賄い材料費1,425万5,000円ですけれども、近年の副食材料費等の値上がりもありますが、栄養バランスを維持し、工夫に努めることとしまして、本年度についても1食当たりの給食費の単価を据え置きまして小学校で250円、中学校で304円、高等学校で343円とし、実施いたします。歳

入といたしまして学校給食費の収入を充当しているところでございます。また、町の単独分としまして精米に対する助成を行っており、米の価格の20%分、17万円を賄い費として支出いたします。13節委託料、調理業務委託料868万4,000円ですけれども、引き続き富士産業株式会社に調理業務委託を行うこととして月額72万3,600円の12カ月分で年間868万4,000円を支出いたします。15節工事請負費、次のページをお願いいたします。学校給食センター煙突改修工事959万1,000円ですけれども、幌加内小学校同様煙突断熱材のアスベスト撤去と煙突の新設に係る工事でございます。18節備品購入費、備品購入費の83万6,000円ですけれども、おかず用の運搬箱、保温性能が低下しておりますので、小中高合わせて17個の購入費用でございます。この目については以上です。

次に、6項1目社会教育総務費、本年度916万4,000円、前年対比142万9,000円の増でございます。7節賃金、臨時雇い賃金165万円ですけれども、社会教育係として1名委嘱しておりますが、補正により計上しておりましたので、当初では新規扱いとなり、追加となっております。19節負担金、補助及び交付金、次のページをお願いいたします。文化連盟活動補助金219万円ですけれども、内訳としまして8団体に対する補助金として29万円、生涯学習フェスティバル事業10万円、映画などの芸術鑑賞会60万円、芸術作品の鑑賞会12万円、著名人や団体などを招聘する講演会108万円を支出することとして計上しております。映画や著名人などの具体的な選定については、これから文化連携と協議して進めてまいります。この目については以上です。

次に、2目公民館費、本年度2,751万2,000円、前年対比697万4,000円の増でございます。11節需用費、特別修繕料144万8,000円ですけれども、母子里コミュニティセンター玄関階段のタイルが剥がれておりますので、ゴムチップタイルへ改修することとして計上しております。13節委託料、中央公民館耐震診断設計業務委託料629万7,000円でございますけれども、各階3カ所においてコンクリートのコア抜きを行い、耐震診断するものでございます。19節負担金、補助及び交付金、次のページをお願いいたします。分館施設設備補助金の内訳ですけれども、自治区要望で上幌加内会館の床の張り替えの補助金として40万7,000円、あと通常分として20万円を計上しております。この補助金の補助率ですけれども、2分の1となっているところでございます。この目については以上です。

次に、3目生涯学習センター費、本年度2,965万円、前年対比217万5,000円でございます。11節需用費、特別修繕料の内訳ですけれども、ふれあいホールの音響設備、スピーカーの切りかえりレーの交換として24万2,000円、再生プレーヤーの交換として11万2,000円、ホールの照明設備、無停電設備の交換として26万9,000円、ホールの消防設備、煙感知器及び誘導灯交換として14万4,000円、事務室の再生プレーヤー交換として7万5,000円、屋外防水修繕として7万円を実施することとして計上しております。18節の備品購入費、次のページをお願いいたします。生

涯学習センター備品購入費ですが、図書室の映像視聴用モニター5台の更新に38万1,000円、同じく図書室のヘッドホン5台の購入に2万3,000円を追加計上しております。図書購入費については、学校からの要望によりまして児童用総合百科事典10万6,000円を購入する予定でございますので、追加計上しております。この目については以上です。

次に、7項1目保健体育総務費、本年度272万円、前年対比5万4,000円の増でございます。19節負担金、補助及び交付金、体育協会活動補助金77万8,000円の内訳ですけれども、12団体への活動事業助成としまして48万3,000円、スキー大会2大会分の開催助成として21万6,000円、運営補助分として7万9,000円を支出することとして計上しております。リフト減免補助金76万3,000円ですが、小中高校生に対しまして土日祝日のリフト券の全額助成とシーズン券購入費の半額助成を行っております。この目については以上です。

次に、2目体育施設費、本年度4,090万5,000円、前年対比498万8,000円のマイナスでございます。11節需用費、特別修繕料の内訳ですけれども、山村広場第2駐車場の看板設置と駐輪場の整備で74万7,000円を計上しております。そのほかスキー場のリフト搬器の滑車の交換、442万8,000円でございます。減速機の整備、こちら756万円を計上しております。こちらについては、整備計画に基づき実施するところでございます。次のページをお願いいたします。13節委託料、管理業務委託料ですけれども、山村広場のテニスコート防球ネットの取り付け、取り外しに49万9,000円を追加計上しております。19節負担金、補助及び交付金、ほろたちスキー場の管理運営補助金2,000万円ですけれども、平成26年7月から平成31年6月までの5年間、指定管理契約によりまして旭川市の株式会社ダンケジャパンと契約をしているところでございます。本年度についても経営努力に努めまして、安全運行を行うよう指導してまいります。この目につきましては以上でございます。

8項1目生活改善センター管理費、本年度282万3,000円、前年対比28万8,000円でございます。11節の需用費、燃料費ですが、燃料単価の増、過去の実績に伴い使用量をふやしておりますので、36万4,000円の追加となっております。この目については以上です。

以上、10款教育費の説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりましたので、事項別明細書151ページから質疑を受けます。

151ページ、152ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 153ページ、154ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 155ページ、156ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 157ページ、158ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 159ページ、160ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 161ページ、162ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 163ページ、164ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 165ページ、166ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 167ページ、168ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 169ページ、170ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 171ページ、172ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 173ページ、174ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 175ページ、176ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 177ページ、178ページです。質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 10款教育費全般について質疑を受けます。10款教育費全般について質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) これで10款に関する質疑を終わらせていただきます。

以上で教育委員会所管の質疑を終わります。ご苦労さまでした。

暫時休憩いたします。

休憩 午後 2時42分

再開 午後 2時56分

○委員長(齋藤雅文君) それでは、休憩を閉じまして、これから歳入の審査に入ります。

歳入の説明をお願いいたします。

総務課長。

○総務課長（大野克彦君） それでは、一般会計歳入についてご説明いたします。

予算書の10ページ、11ページをお願いいたします。1款1項1目町民税、個人で本年度8,534万7,000円、前年対しまして438万5,000円の減額であります。これにつきましては、28年の農業所得の減額に伴う課税標準額の減が主な要因でございます。

2目法人725万5,000円、43万8,000円の減額でございます。平成28年度決算見込み額を算出根拠としておりますけれども、一部法人の業績低下が要因でございます。

2項1目固定資産税6,662万1,000円、90万3,000円の減額でございます。償却資産の課税標準額の減が要因でございます。

2目国有資産等所在市町村交付金474万1,000円、6万5,000円の増額でございますが、森林管理局の森林評価の伸びに伴う増でございます。

3項1目軽自動車税492万3,000円、68万6,000円の増額でございます。これにつきましては、グリーン化特例による重課の対象となる車の台数の増が要因となっております。

4項、次のページをお願いいたします。1目たばこ税、本年度624万8,000円、33万1,000円の減額でございます。平成28年の実績及び見込みをベースに算出しております。

5項1目入湯税139万円、17万9,000円の減額でございます。これにつきましても28年度の実績及び見込みを基礎に減額で算出しております。

次のページをお願いいたします。2款1項1目地方揮発油譲与税から31ページの交通安全対策特別交付金までは副町長の概要説明のとおりでございますので、省略させていただきます。

32ページ目をお願いいたします。11款1項1目分担金、本年度4,262万円、186万4,000円の減額でございます。これにつきましては、道営幌加内北中山間事業の終了による減が主な要因となっております。

続きまして、2項1目負担金、本年度55万円、2万400円の増額でありますけれども、特にございません。

次のページをお願いいたします。34ページ、35ページ目をお願いいたします。12款1項1目総務使用料及び2目民生使用料、特にございません。

3目衛生使用料、本年度1億1,344万9,000円、2,599万1,000円の増額でございます。これにつきましては、昨年7月から病院会計より一般会計へ移行した幌加内診療所の使用料及び政和診療所の使用料、これが1年分となることにより2,700万円程度増えることが要因となっております。

続きまして、4目農業使用料、5目商工使用料、特にございません。

6目土木使用料4,758万9,000円に対し、52万7,000円の減額でございます。

ます。これにつきましては、公営住宅の入居者の減が要因となってございます。

次のページをお願いいたします。7目教育使用料、2項1目総務手数料、2目衛生手数料、これにつきましてはそれぞれ前年実績を踏まえ、基礎として減額として計上してございます。

3目農業手数料、特にございません。

次のページをお願いいたします。38ページ、39ページをお願いいたします。4目教育手数料、本年度239万9,000円、194万8,000円の増額でございしますが、これにつきましては高校授業料の増額によるアップとなっております。

次のページをお願いいたします。40ページ、41ページをお願いいたします。13款1項1目民生費国庫負担金4,768万7,000円、193万8,000円の増額でございしますが、増額につきましては保育所運営費負担金で337万3,000円、児童手当負担金でマイナス78万円となっていることが要因となっております。

2目農林水産業費国庫負担金、特にございません。

2項1目民生費国庫補助金85万4,000円に対し、574万8,000円の減額でございします。これにつきましては、28年度において老人福祉寮の火災報知機、スプリンクラーの整備に対し地域介護・福祉空間整備交付金があったため、減額となっております。

次のページをお願いいたします。2目衛生費国庫補助金626万4,000円の増額となっております。これにつきましては、本年度医師住宅の建設に対する補助金として計上してございます。

3目土木費国庫補助金、これにつきましては5,897万7,000円、2,502万4,000円の増額でございしますが、概要説明のとおりとなっております。

次、4目教育費国庫補助金から3項2目民生費委託金まで、特にございません。

次のページをお願いいたします。14款1項1目民生費道負担金、特にございません。

2項、次のページをお願いいたします。46ページをお願いいたします。1目民生費道補助金394万7,000円に対し、87万6,000円の増額となっております。これにつきましては、民生費補助の下段にあります低所得者利用者負担減免措置補助金49万円の増、子育て支援対策事業費補助金57万6,000円がふえたのが要因となっております。

続きまして、2目衛生費道補助金、特にございません。

3目農林水産業費道補助金、概要説明のとおりとなっております。

次のページをお願いいたします。48ページ、49ページをお願いいたします。5目教育費道補助金、それから6目商工費道補助金、特にございません。

その次、総務費道補助金でありますけれども、これにつきましてはほろみん号にかかわる地域づくり交付金の減額により皆減となっております。

3項1目総務費委託金241万8,000円、346万5,000円の減額でございま

すけれども、28年度において参議院選挙の事務費委託費で300万円がありましたので、減額の要因となってございます。

次のページをお願いいたします。50ページ、51ページ、2目農林水産業費委託金、3目土木費委託金、特にございません。

次のページ、52ページ、53ページをお願いいたします。15款1項1目財産貸付収入、特にございません。

2目利子及び配当金199万2,000円、前年に対しまして220万4,000円の減額となってございます。これにつきましては、基金利子について計上してございますが、利息がそれぞれ下がりましたので、このような形となってございます。去年は0.045から0.113で金利がついておりますが、今年の見込みといたしましては0.01から0.11%の中で計上しているところでございます。

次のページをお願いいたします。54ページ、55ページをお願いいたします。2項1目不動産売払収入、次の2目物品売払収入、特にございません。

3目生産物売払収入290万2,000円に対し、73万3,000円の増額でござい
ますが、要因といたしましてはバーク堆肥で60万円の増額を見込んでござい
ます。

次のページをお願いいたします。16款1項1目一般寄附金、特にございません。

2目使途指定寄附金500万1,000円、500万円の増額となってござい
ますが、ふるさと納税寄附金といたしまして500万円の収入を見込んでござい
ます。支出につ
いては2,000万円に対応するべく支出を組んでおりますけれども、歳入は少な目に50
0万円ということで計上してござい
ます。

次のページ、58ページ、59ページをお願いいたします。17款1項1目基金繰入金
2億7,682万7,000円、817万9,000円の増額でござい
ます。大きな要因
といたしましては財政調整基金におきまして財源対策のために繰り入れるものでござい
ますが、これが昨年よりも予算ベースで1,500万円増額になっていることが主な要因と
なってござい
ます。

次のページをお願いいたします。18款1項1目繰越金、これは前年同で、特にござい
ません。

次のページ、62ページ、63ページをお願いいたします。19款1項1目延滞金からこ
のページの最後、3目雑入まで、特にございません。3目雑入については、概要説明のと
おりとなってござい
ます。このページは以上でござい
ます。

次、最後になりますが、68ページ、69ページをお願いいたします。20款町債で
ござい
ますが、これにつきましても副町長の概要説明のとおりでござい
ますので、説明につ
いて省略させていただきます。

以上、歳入につきまして、簡単であります。説明を終わらせていただきます。ご審議
のほどよろしくをお願いいたします。

○委員長（齋藤雅文君） 歳入についての説明が終わりましたので、事項別明細書10ペ

ージから質疑を受けます。

10 ページ、11 ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長 (齋藤雅文君) 12 ページ、13 ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長 (齋藤雅文君) 14 ページ、15 ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長 (齋藤雅文君) 16 ページ、17 ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長 (齋藤雅文君) 18 ページ、19 ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長 (齋藤雅文君) 20 ページ、21 ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長 (齋藤雅文君) 22 ページ、23 ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長 (齋藤雅文君) 24 ページ、25 ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長 (齋藤雅文君) 26 ページ、27 ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長 (齋藤雅文君) 28 ページ、29 ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長 (齋藤雅文君) 30 ページ、31 ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長 (齋藤雅文君) 32 ページ、33 ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長 (齋藤雅文君) 34 ページ、35 ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長 (齋藤雅文君) 36 ページ、37 ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長 (齋藤雅文君) 38 ページ、39 ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長 (齋藤雅文君) 40 ページ、41 ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長 (齋藤雅文君) 42 ページ、43 ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長 (齋藤雅文君) 44 ページ、45 ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 46ページ、47ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 48ページ、49ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 50ページ、51ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 52ページ、53ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 54ページ、55ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 56ページ、57ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 58ページ、59ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 60ページ、61ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 62ページ、63ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 64ページ、65ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 66ページ、67ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 68ページ、69ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 70ページ、71ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 歳入全般について質疑を受けます。歳入全般について質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 質疑なしと認めます。

以上をもちまして一般会計の質疑を終わります。

暫時休憩いたします。

休憩 午後 3時17分

再開 午後 3時17分

◎延会の議決

- 委員長（齋藤雅文君） それでは、休憩を閉じまして、委員の皆様にお諮りします。
本日の委員会をこの程度にとどめ、延会したいと思います。これにご異議ありませんか。
（「異議なし」の声あり）

◎延会の宣告

- 委員長（齋藤雅文君） したがいまして、本日はこれで延会することに決定いたしました。
ご苦労さまでございました。

延会 午後 3時18分